

資 料 編

資 - 1 都市計画マスタープランの策定の経過等

資 - 2 市民ワークショップ

資 - 3 市民アンケート等

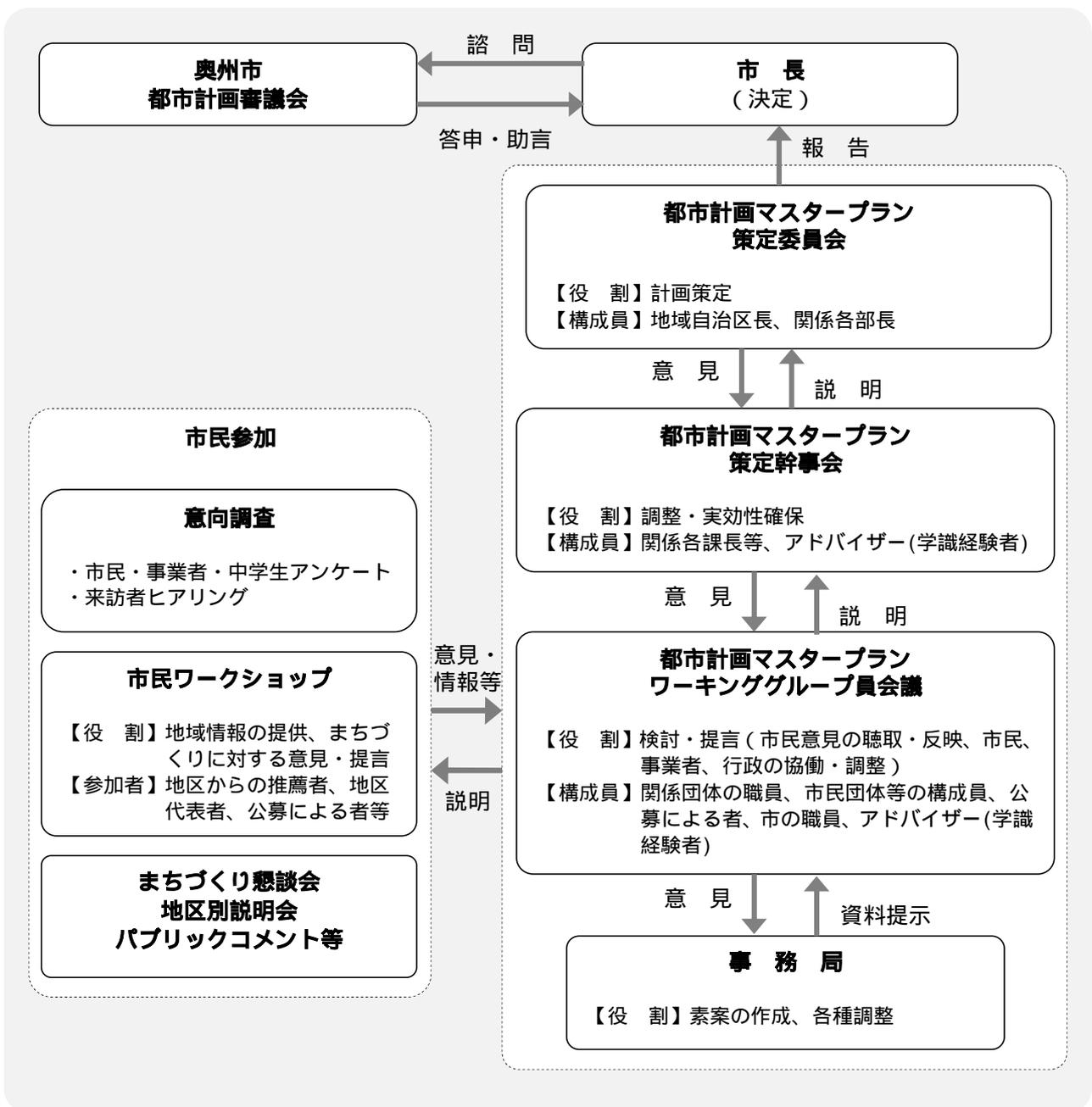
資料編

資 - 1 都市計画マスタープランの策定の経過等

(1) 策定体制

本計画は、「アンケート調査」、「市民ワークショップ」、「まちづくり懇談会」等を通じて市民の意見を聴きながら、委員会、幹事会、ワーキンググループ員会議等で検討し、策定しました。

奥州市都市計画マスタープランの策定体制



(2) 都市計画マスタープランの策定の経緯

	日程	取り組み・会議等	内容等
平成 19年		まちづくり基礎調査	・現況調査 ・まちづくりアンケート調査
平成 20年	11月7日	第1回策定委員会・第1回策定幹事 会合同会議	・都市計画マスタープランの策定方針 ・策定組織の概要
	11月28日	第1回ワーキンググループ員会議	・都市計画マスタープランの策定方針 ・策定組織の概要
	12月10日 ～16日	第1回市民ワークショップ	・地域の良いところ、改善したいところの確認
平成 21年	1月28日	第2回ワーキンググループ員会議	・市民ワークショップの結果の概要と総括 ・部門別まちづくり方針骨子案
	2月12日 ～23日	第2回市民ワークショップ	・地域の特性・問題点とまちづくりアイディア の確認 ・地域で重点的に取り組む事項の整理
	2月19日	第2回策定幹事会	・都市づくりの基本目標（素案）と部門別方針 （素案）
	3月23日	第3回市民ワークショップ	・市民ワークショップの結果発表会
	3月27日	第2回策定委員会・第3回策定幹事 会合同会議	・都市計画マスタープランの中間報告
	7月10日	第3回ワーキンググループ員会議	・都市計画マスタープランの中間報告
	7月21日	第4回策定幹事会	・全体構想（素案）の協議
	8月6日	第3回策定委員会	・全体構想（素案）の協議
	8月21日	第6回奥州市都市計画審議会	・全体構想（素案）の協議
	8月24日 ～29日	地区別まちづくり懇談会	・全体構想（素案）への住民意見の反映
	10月5日	第4回ワーキンググループ員会議	・住民意見を反映した全体構想（案）と地域別 構想の構成説明
	10月30日	第5回策定幹事会	・全体構想（案）及び地域別構想（素案）並び に実現化方策（素案）の協議
	11月6日	第4回策定委員会	・全体構想（案）及び地域別構想（素案）並び に実現化方策（素案）の協議
	11月11日 ～19日	地域自治区地域協議会への説明会	・都市計画マスタープラン（素案）の説明
	11月16日	議員全体説明会	・都市計画マスタープラン（素案）の説明
	11月19日	第7回都市計画審議会	・都市計画マスタープラン（素案）の協議
	11月30日	第5回ワーキンググループ員会議	・都市計画マスタープラン（素案）の説明
12月4日 ～25日	パブリックコメント	・都市計画マスタープラン（素案）の意見募集	
12月7日 ～13日	地区別説明会	・都市計画マスタープラン（素案）の説明	
平成 22年	1月20日	第6回ワーキンググループ員会議	・都市計画マスタープラン（案）の協議
	1月27日	第5回策定委員会・第6回策定幹事 会合同会議	・都市計画マスタープラン（案）の策定
	2月25日	第8回奥州市都市計画審議会	・都市計画マスタープラン（案）の諮問・答申
	3月16日	奥州市都市計画マスタープランの決 定	

(3) 奥州市都市計画審議会

奥州市都市計画審議会条例

(平成 18 年 2 月 20 日条例第 277 号)

(設置)

第 1 条 都市計画法(昭和 43 年法律第 100 号)第 77 条の 2 第 1 項の規定に基づき、奥州市都市計画審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織及び委員の任期)

第 2 条 審議会は、委員 15 人以内で組織し、委員は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 学識経験者
- (2) 市議会議員
- (3) 関係行政機関の職員

2 委員の任期は、2 年とし、再任は妨げない。ただし、委員が欠けた場合における後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(臨時委員)

第 3 条 審議会に、特別の事項の調査及び審議をさせるため必要があるときは、臨時委員若干人を置くことができる。

2 臨時委員は、市長が委嘱する。

3 臨時委員は、当該特別の事項に関する調査及び審議が終了したときは、解任されるものとする。

(会長)

第 4 条 審議会に会長を置き、第 2 条第 1 項第 1 号に掲げる者につき委嘱された委員のうちから委員の選挙によってこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、会議の議長となる。

3 会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第 5 条 審議会は、市長が招集する。

2 審議会の会議は、委員及び議案に関係のある臨時委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(庶務)

第 6 条 審議会の庶務は、都市整備部都市計画課において処理する。

(委任)

第 7 条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

奥州市都市計画審議会委員名簿

自 平成 20 年 7 月 1 日
任期
至 平成 22 年 6 月 30 日

(1 号委員)

奥州商工会議所	会 頭	千 葉 龍二郎 (会長)
岩手ふるさと農業協同組合	経営管理委員会副会長	小野寺 哲 郎
奥州市農業委員会	農 業 委 員	岩 淵 壽 子
胆沢平野土地改良区	理 事 長	及 川 正 和
江刺青年会議所	副理事長	菊 池 桃 子
岩手県建築士会奥州支部	女性部長	鈴 木 まゆみ
旧前沢町都市計画審議会委員		高 橋 安 子

(2 号委員)

奥州市議会	議 員	千 葉 悟 郎
奥州市議会	議 員	及 川 俊 行
奥州市議会	議 員	菅 原 哲
奥州市議会	議 員	菅 原 明
奥州市議会	議 員	中 西 秀 俊

(3 号委員)

岩手県南広域振興局土木部	道路整備課長	中 村 実
水沢警察署	署 長	工 藤 義 彦
奥州金ヶ崎行政事務組合	会計管理者兼会計課長	岩 淵 京 子

平成 22 年 2 月 25 日現在

諮問書（写）

奥都-第 774 号

平成 22 年 2 月 25 日

奥州市都市計画審議会

会長 千葉 龍二郎 様

奥州市長 相原 正明



奥州市都市計画マスタープランの策定について（諮問）

このことについて、都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 77 条の 2 第 1 項の規定により、貴審議会の意見を求めます。

答申書(写)

平成 22 年 2 月 25 日

奥州市長 相原 正明 様

奥州市都市計画審議会

会長 千葉 龍二郎 

奥州市都市計画マスタープランの策定について(答申)

平成 22 年 2 月 25 日付け奥都第 774 号で諮問があったこのことについて、異議
ありません。

(4) 奥州市都市計画マスタープラン策定委員会等**奥州市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱**

(平成 19 年 10 月 26 日告示第 235 号)

(設置)

第 1 条 都市計画法(昭和 43 年法律第 100 号)第 18 条の 2 第 1 項の規定に基づく本市の都市計画に関する基本的な方針(以下「都市計画マスタープラン」という。)を円滑に策定するため、奥州市都市計画マスタープラン策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第 2 条 委員会の所掌事務は、都市計画マスタープランの策定に関することとする。

(組織)

第 3 条 委員会は、委員長、副委員長及び委員をもって組織する。

2 委員長は副市長を、副委員長は都市整備部長をもって充てる。

3 委員は、次に掲げる職にある者をもって充てる。

- (1) 地域自治区の区長
- (2) 市長部局の部長(都市整備部長を除く。)
- (3) 水道部長
- (4) 教育部長

(委員長及び副委員長)

第 4 条 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第 5 条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3 委員長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(幹事会)

第 6 条 委員会の事務を行うに当たり、関係する部署間の調整及び委員会において必要とする事項の検討を行うため、委員会に幹事会を置く。

2 幹事会は、次に掲げる職にある者をもって構成する。

(1) 市長部局 総合政策部政策企画課長及びまちづくり推進課長、総務部財政課長、市民環境部生活環境課長及び消防防災課長、商工観光部商業観光課長及び企業振興課長、農林部農政課長及び農地林務課長、健康福祉部福祉課長、都市整備部土木課長、都市計画課長、建築住宅課長及び下水道課長並びに総合支所地域整備課長

(2) 水道部 総務課長

(3) 教育委員会事務局 生涯学習課長及び歴史遺産課長

(4) 農業委員会 事務局長

3 幹事会は、副委員長が統括する。

(ワーキンググループ)

第 7 条 計画の策定及び検討に必要な調査、企画、資料の作成等を行わせるため、幹事会にワーキンググループを置く。

2 ワーキンググループは、次に掲げる者のうちから市長が委嘱し、又は任命する者をもって構成する。

(1) 関係団体の職員

(2) 市民団体等の構成員

(3) 公募による者

(4) 市の職員

(5) 前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

(庶務)

第 8 条 委員会の庶務は、都市整備部都市計画課において処理する。

(補則)

第 9 条 この告示に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

奥州市都市計画マスタープラン策定委員会等名簿

ア 策定委員会

	職名	氏名	備考
委員長	副市長	岩井 憲 男	
副委員長	都市整備部長	菊池 賢 一 (高橋 秀之)	
委員	水沢区長	原田 守	
	江刺区長	平 京 子	
	前沢区長	岩 淵 功	
	胆沢区長	桜田 昭 史	
	衣川区長	浦川 福 一	
	総合政策部長	及川 俊 和	
	総務部長	井上 馨	
	市民環境部長	菅原 英 記	
	商工観光部長	齊藤 隆 治	
	農林部長	柏山 徹 郎	
	健康福祉部長	井内 努	
	水道部長	小野寺 三 夫	
	教育部長	三浦 信 子	

()内は、前任者

イ 策定幹事会

	職名	氏名	備考
アドバイザー	宮城大学・岩手県立大学名誉教授	山田 晴 義	
統括	都市整備部長	菊池 賢 一 (高橋 秀之)	委員会副委員長
幹事	総合政策部政策企画課長	佐々木 禅	
	総合政策部まちづくり推進課長	及川 克 彦	
	総務部財政課長	菊池 隆 一	
	市民環境部生活環境課長	高橋 稔 (鈴木 龍司)	
	市民環境部消防防災課長	千葉 典 弘	
	商工観光部商業観光課長	菅原 浩	
	商工観光部企業振興課長	千葉 祐	
	農林部農政課長	伊藤 嘉 啓 (渡部 昭吉)	
	農林部農地林務課長	菊池 盛 吉 (村上 壯)	
	健康福祉部福祉課長	大沼 一 裕 (若原 秀康)	
	都市整備部土木課長	菅原 千 秋	
	都市整備部都市計画課長	渡辺 喜美男	
	都市整備部建築住宅課長	佐藤 二 郎 (千葉 善諭喜)	
	都市整備部下水道課長	及川 公	
	水沢総合支所地域整備課長	渡辺 和 也	
	江刺総合支所地域整備課長	菊池 敬 (熊谷 信行)	
	前沢総合支所地域整備課長	佐藤 実 (佐藤 二郎)	
	胆沢総合支所地域整備課長	高橋 綾 雄	
	衣川総合支所地域整備課長	佐藤 幹 穂	
	水道部総務課長	菊池 契	
	教育委員会事務局生涯学習課長	高橋 民 雄 (高橋 又男)	
	教育委員会事務局歴史遺産課長	佐久間 賢 (高橋 民雄)	
	農業委員会事務局事務局長	及川 政 義 (内田 新一)	

()内は、前任者

ウ 策定委員会ワーキンググループ員

部会		団体名	所属	役職名等	氏名
アドバイザー		岩手大学	農学部 共生環境課程	准教授	三宅 諭
道路・交通部会	1	岩手県交通(株)	乗合自動車部 運行課	主任	樋口 誠
	2	東日本旅客鉄道(株)盛岡支社	総務部企画室	担当課長 (企画)	菅原 一成
	3	国土交通省東北地方整備局 岩手河川国道事務所	調査第二課	調査係長	佐々木 博樹
	4	水沢警察署	交通課	課長代理	加藤 正彦
	5	江刺警察署	交通課	交通係長	高橋 義喜
	6	岩手県南広域振興局 土木部	調整課	企画総括 主査	小岩 恒雄 (小岩 喜代司)
	7	公募委員			田中 雄一
	8	奥州市総合政策部 政策企画課	企画推進係	主事	坂下 善彦
	9	奥州市総合政策部 まちづくり推進課	総合交通係	主任	菅野 伸
	10	奥州市都市整備部 土木課	土木係	係長	高橋 浩幸
都市環境・ 景観形成、 自然環境部会	1	J A岩手ふるさと	総合企画課	課長	佐藤 一行
	2	岩手江刺農業協同組合	総務部 企画管理課	主査	千葉 裕之
	3	水沢地方森林組合	総務課	主事	高橋 厚子
	4	江刺市森林組合	総務課	課長	梅原 吉弘
	5	岩手県土地改良事業団体連 合会	胆沢平野土地改良区 調査計画課計画係	係長	石川 康幸
	6	岩手県南広域振興局 農林部	農林調整課	主査	和川 央 (二宮 康洋)
	7	特定非営利活動法人 北上川中流域エコミュージ アム推進会議		副理事長	菊地 政平
	8	特定非営利活動法人 イーティーシー		理事長	及川 純一
	9	特定非営利活動法人 エコ・スタディいさわ		事務局	千葉 嘉彦
	10	奥州市総合政策部 政策企画課	世界遺産登録推進室	主査	吉田 俊彦
	11	奥州市総合政策部 政策企画課	胆沢ダム振興室	主任	亀井 貢
	12	奥州市市民環境部 生活環境課	環境係	主任	佐々木 治彦 (後藤 拓也)
	13	奥州市商工観光部 商業観光課	観光物産係	係長	佐々木 啓二
	14	奥州市農林部 農政課	農政係	主任	高橋 博幸 (高橋 毅)
	15	奥州市農林部 農地林務課	農村整備係	主任	堀 貴宏 (高橋 隆敏)
	16	奥州市教育委員会事務局 歴史遺産課	企画管理係	主任学芸 員	川田 啓介

部会		団体名	所属	役職名等	氏名
安心・安全住みよ いまちづくり部会	1	(社)奥州市社会福祉協議会	江刺支所	主任	高橋 一彦
	2	(社)岩手県建築士会 奥州支部		広報部長	佐藤 雅行
	3	奥州市地域婦人団体協議会		副会長	及川 公子
	4	奥州金ヶ崎行政事務組合 消防本部	水沢消防署 査察調査係	主任	高橋 清人
	5	岩手県南広域振興局 土木部	建築指導課	上席建築 専門員	池田 勝秀 (野中 康)
	6	岩手県南広域振興局 保健福祉環境部	管理課	主任主査	宮野 洋子
	7	奥州市総合政策部 まちづくり推進課	市民活動係	主任	及川 香 (吉田 隆浩)
	8	奥州市市民環境部 消防防災課	産業保安係	主事	佐々木 賢一
	9	奥州市健康福祉部 福祉課	地域福祉係	主任	杉田 哲也 (柴田 長志)
	10	奥州市都市整備部 建築住宅課	建築指導係	主任	小野 正樹
	11	奥州市都市整備部 下水道課	下水道係	主任	及川 敬裕
	12	奥州市水道部 建設課	計画係	係長	及川 健
	13	奥州市教育委員会事務局 生涯学習課	文化振興係	係長	後藤 聡
まちの賑わい・活 性化部会	1	奥州商工会議所	振興課	係長	佐藤 明 (及川 智英)
	2	奥州商工会議所 江刺支所	総務振興課	主任	菊池 一志 (荒川 翼)
	3	前沢商工会		経営指導 員	千葉 勝
	4	奥州商工会議所 胆沢支所	振興課	主任	小野寺 慎逸
	5	奥州商工会議所 衣川支所	指導振興課	課長	祐川 正義
	6	(社)水沢青年会議所			千田 大輔
	7	(社)江刺青年会議所		理事長	海鋒 徹哉
	8	(社)水沢観光協会		係長	及川 忠彦
	9	奥州市江刺観光物産協会		事務局長	伊藤 文雄
	10	前沢観光協会	前沢総合支所 商工観光課	課長補佐	千葉 博
	11	胆沢観光協会	胆沢総合支所 商工観光課	係長	元木 哲也
	12	衣川観光物産協会			菅原 健好
	13	岩手県南広域振興局 経営企画部	観光商業課	主査	今野 善文 (福田 清喜)
	14	奥州市商工観光部 商業観光課	中心市街地活性化対策室	主任	齋藤 輝彦

()内は、前任者

資 - 2 市民ワークショップ

(1) 市民ワークショップの目的

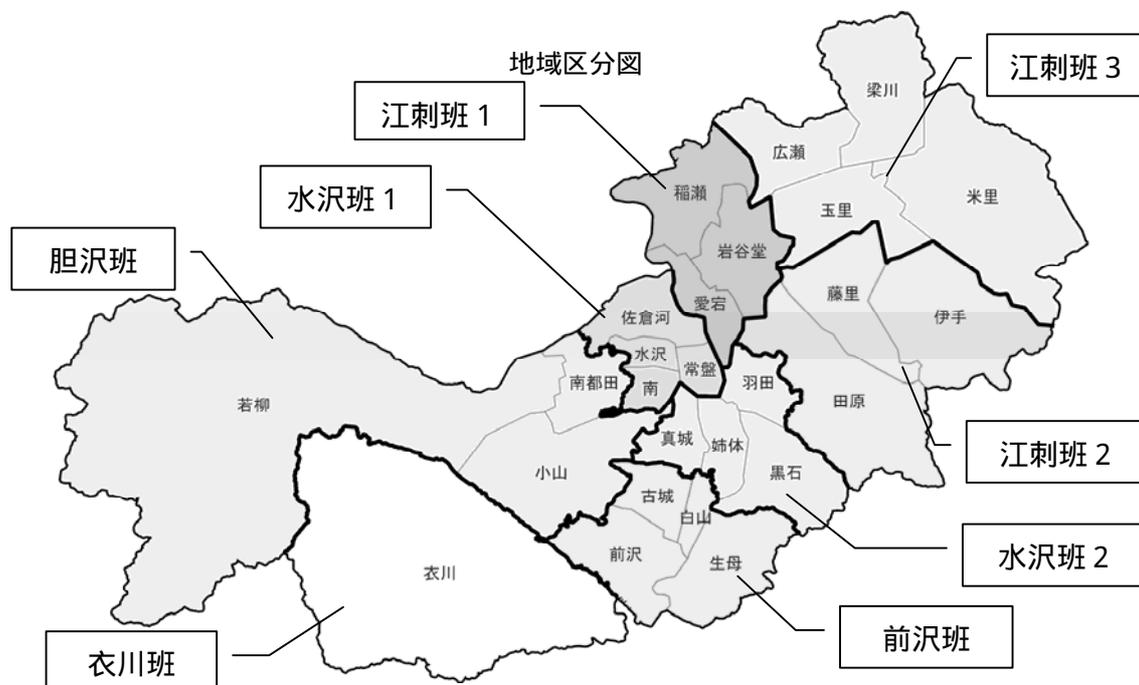
市民ワークショップは、地域の方々と一緒に、地域の現状や問題点・課題等を把握し、まちづくりのあり方を考え、その結果を奥州市都市計画マスタープランへ反映するために開催したものです。

(2) 市民ワークショップの班編成

地域自治区を基本に、地域特性や地理的条件等から市域を8つの地域に区分し、それぞれの地域で市民ワークショップを開催しました。

市民ワークショップの班編成

地域自治区	班	地域	地区
水沢区	水沢班 1	水沢北部	水沢/南/常盤/佐倉河
	水沢班 2	水沢南部	真城/姉体/羽田/黒石
江刺区	江刺班 1	江刺西部	岩谷堂/愛宕/稲瀬
	江刺班 2	江刺南東部	田原/藤里/伊手
	江刺班 3	江刺北東部	米里/玉里/梁川/広瀬
前沢区	前沢班	前沢	前沢/古城/白山/生母
胆沢区	胆沢班	胆沢	小山/南都田/若柳
衣川区	衣川班	衣川	



(3) 市民ワークショップの参加者

市民ワークショップには、地区からの推薦者、地区代表者、公募による市民等に参加していただきました。

市民ワークショップ参加者名簿

班	団体名等	職等	氏名
水沢班 1 (12名)	水沢地区町内会連絡協議会	事務局	大 森 利 男(リダー)
	奥州市水沢南自治振興会	桜屋敷東町内会長	菊 地 正 宏
	常盤地区振興協議会	常任理事	穂 積 十 五
	佐倉河地区振興会	副会長	小野寺 一 男
	水沢地区センター	センター長	菊 地 宏 充
	水沢南地区センター	センター長	萩 原 邦 夫
	常盤地区センター	センター長	齊 藤 憲 雄
	佐倉河地区センター	センター長	菅 原 睦 夫
	水沢地区行政区長会	会長	小 林 佳 良
	南地区行政区長会	会長	高 橋 司
	常盤地区行政区長会	会長	菊 地 四 郎
	佐倉河地区行政区長会	会長	高 橋 純 一
水沢班 2 (12名)	真城地区振興会	会長	遠 藤 計 悦
	奥州市水沢区姉体町振興会	会長	佐々木 勅 男
	羽田地区振興会	商工観光部長	佐 藤 静 進
	黒石地区振興会	会長	梅 原 淳 一
	真城地区センター	センター長	佐 藤 直
	姉体地区センター	センター長	及 川 時 男
	羽田地区センター	センター長	佐 藤 義 正
	黒石地区センター	センター長	佐 藤 邦 憲
	真城地区行政区長会	会長	高 橋 幸 男
	姉体地区行政区長会	会長	菊 地 益 本
	羽田地区行政区長会	会長	及 川 武 夫(リダー)
	黒石地区行政区長会	会長	菅 原 一 廣
江刺班 1 (10名)	岩谷堂地区振興会	会長	廣 野 雅 喜(リダー)
	江刺愛宕地区振興会	会長	北 條 則 道
	稲瀬振興会	会長	千 葉 謙
	奥州市岩谷堂地区センター	センター長	菅 原 豊 彦
	奥州市江刺愛宕地区センター	センター長	及 川 岩 生
	奥州市稲瀬地区センター	センター長	菅 野 光
	岩谷堂地区行政区長会	会長	阿 部 良 男
	江刺愛宕地区行政区長会	会長	西 丸 恪 夫
	稲瀬地区行政区長会	会長	阿 部 勝 司
	公募	市民	熊 谷 洋 子
江刺班 2 (9名)	田原振興会	会長	菊 地 俊 裕(リダー)
	藤里振興会	会長	及 川 健 市
	伊手振興会	副会長	境 田 謙一郎
	奥州市田原地区センター	センター長	及 川 衛
	奥州市藤里地区センター	センター長	千 田 拓 夫
	奥州市伊手地区センター	センター長	山 内 賢 一
	田原地区行政区長会	会長	千 葉 早 苗
	藤里地区行政区長会	会長	及 川 良 喜
	伊手地区行政区長会	会長	佐 藤 雄 孝
江刺班 3 (12名)	米里振興会	会長	山 口 昭 幸
	玉里振興会	会長	後 藤 涉
	梁川振興会	副会長	菊 池 喜 一
	広瀬振興会	副会長	後 藤 一 郎
	奥州市米里地区センター	センター長	平 塚 誠 厚
	奥州市玉里地区センター	センター長	及 川 慰 雄
	奥州市梁川地区センター	センター長	平 野 昌 志
	奥州市広瀬地区センター	センター長	菅 野 範 正
	米里地区行政区長会	会長	佐 藤 喜 美 雄
	玉里地区行政区長会	会長	菅 野 謙 市(リダー)
	梁川地区行政区長会	会長	菅 原 斐
	広瀬地区行政区長会	会長	千 葉 司

班	団体名等	職等	氏名
前沢班 (14名)	白鳥地区住民協議会	防犯協会会長	鈴木 例
	前沢南地区自治振興会	地区住民代表	工藤 正弘(リダ-)
	前沢中央地区自治振興会	振興会代議員	千田 孝一
	前沢北地区住民協議会	会長	菅原 勝一
	前沢東地区振興会	顧問	石田 清志
	上野原振興協議会	事務局	保科 承家
	古城地区住民協議会	会長	岩淵 清
	白山地区振興会	会長	鈴木 福美雄
	生母地区振興会	副会長	三浦 栄一
	前沢地区センター	センター長	岩淵 幸徳
	古城地区センター	センター長	千田 長男
	白山地区センター	センター長	千葉 一良
	生母地区センター	センター長	吉田 一男
	前沢行政区長会	会長	鈴木 正侃
胆沢班 (11名)	小山地区振興会	会長	佐藤 英男
	南都田地区振興会	副会長	佐藤 智佐人
	若柳地区振興会	会長	安倍 博雄
	愛宕地区振興会	事務局	小坂 興七
	小山地区センター	センター長	小野寺 功
	南都田地区センター	センター長	小原 良夫
	若柳地区センター	センター長	加藤 清
	胆沢愛宕地区センター	センター長	阿部 雅守
	胆沢行政区長会	会長	千田 祐(リダ-)
	胆沢行政区長会	副会長	渡辺 市治
胆沢行政区長会	副会長	安倍 勇	
衣川班 (10名)	北股地区振興会	会長	加瀬 裕也
	南股地区振興会	畦畑集落自主防災組織組合長	相澤 征雄
	衣川地区振興会	総務部長	菅原 敏行
	衣里地区振興会	総務部長	佐々木 常重
	奥州市北股地区センター	センター長	高橋 奉美
	奥州市南股地区センター	センター長	塚本 康雄(リダ-)
	衣川地区センター	センター長	小野寺 精一
	衣里地区センター	センター長	千葉 正司
	衣川行政区長会	会長	佐藤 祐宏
衣川行政区長会	副会長	高橋 壽弘	

(4) 市民ワークショップの開催概要

市民ワークショップは、3回開催しました。

第1回は、地区の良いところ、改善したいところを確認し、まちを良くする為のアイデアを出すことを目的として、平成20年12月10日から12月16日にかけて開催しました。

第2回は、地区の将来像とそれを実現するための取り組みについて話し合うことを目的として、平成21年2月12日から2月23日にかけて開催しました。

第3回では、各地区の検討結果を発表し、岩手大学農学部三宅准教授より講評等をいただきました。

市民ワークショップの開催概要

	開催時期	概要	次第
第1回 (地区別)	平成20年 12月10日 ～16日	地区の良いところ、改善したいところを確認し、まちを良くするためのアイデアを出しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープランとは ・WSの進め方について ・地区の良いところ、改善したいところ ・まちを良くするためのアイデア
第2回 (地区別)	平成21年 2月12日 ～23日	地区の将来像とそれを実現するための取り組みについて話し合いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回WS結果の確認 ・地区の将来像とそれを実現するために必要な取り組みについて
第3回 (発表会)	平成21年 3月23日	各地区の検討結果を発表し、アドバイザーより講評等をいただきました。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別の検討結果の発表(8地区) ・講評 

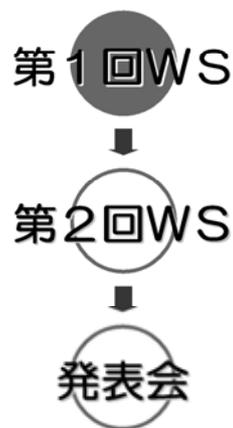
市民ワークショップの開催日時等

	日時	地区名	場所
第1回	12月10日(水) 13:30～16:00	江刺班1 江刺班2 江刺班3	江刺区岩谷堂字反町362-1 江刺農業活性化センター1階 担い手研修室
	12月11日(木) 13:30～16:00	前沢班	前沢区字七日町裏131-1 前沢勤労青少年ホーム1階 和室
	12月12日(金) 13:30～16:00	水沢班1 水沢班2	水沢区大手町一丁目1番地 奥州市役所3階 講堂
	12月15日(月) 13:30～16:00	衣川班	衣川区古戸15-10 衣川山村開発センター1階 和室
	12月16日(火) 13:30～16:00	胆沢班	胆沢区南都田字加賀谷地1-1 胆沢文化創造センター1階 和室
第2回	2月12日(木) 13:30～16:30	江刺班1	江刺区大通り1番8号 江刺総合支所2階 212会議室
	2月13日(金) 13:30～16:30	江刺班2	江刺区藤里字上長沢27 藤里地区センター1階 相談室
	2月16日(月) 13:30～16:30	前沢班	前沢区字七日町裏131-1 前沢勤労青少年ホーム1階 音楽室
	2月17日(火) 13:30～16:30	胆沢班	胆沢区南都田字加賀谷地1-1 胆沢文化創造センター1階 研修室
	2月18日(水) 13:30～16:30	衣川班	衣川区古戸15-10 衣川山村開発センター1階 健康相談室
	2月20日(金) 13:30～16:30	江刺班3	江刺区玉里字青篠199-3 玉里地区センター1階 会議室
	2月23日(月) 13:30～16:30	水沢班1 水沢班2	水沢区大手町一丁目1番地 奥州市役所5階 大会議室
第3回	3月23日(月) 13:30～	合同	水沢区大手町一丁目1番地 市役所3階 講堂

第1回 ワークショップの内容

- ① 地区の良いところ、改善したいところの確認
- ② まちを良くするためのアイデアの提案

視点	良いところ	改善したいところ	まちを良くするためのアイデア
道路			
公共交通			
環境を阻害しているもの			
守りたいもの(環境、資源)			
景観			
公園、緑			
水辺			
公共施設			



良いところは、青色の付箋に記入

改善したいところは、赤色の付箋に記入

アイデアは、黄色の付箋に記入

第1回ワークショップの様子

それぞれが良いところ、改善したいところを付箋に記入



記入した付箋を表に貼りながら議論



検討結果の発表

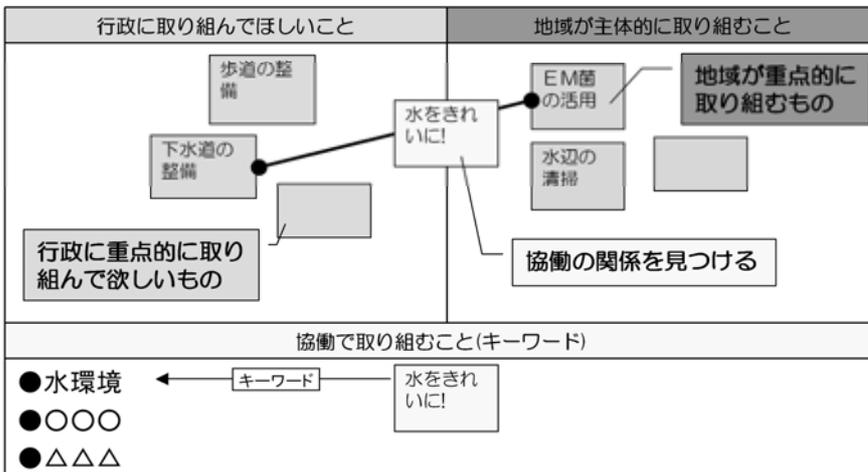


当日の成果



第2回ワークショップの内容

- ① 地域での重点的取り組みの整理
- ② まちづくりのキャッチフレーズ案の作成



まちづくりキャッチフレーズの検討

川と親しめるまち○○

第2回ワークショップの様子

<p>地区別の特性・問題とまちづくりアイデア総括表のチェック</p>		<p>当日の成果</p>	
<p>地域で重点的に取り組むべきことの整理</p>			
<p>まちづくりのキャッチフレーズ案の作成</p>			

(5) 市民ワークショップの結果

水沢班 1

地区の現状と課題

	現状と課題
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道 4 号水沢東バイパスの早期完成や国道 397 号の拡幅など広域的な道路の整備が求められている。 ・ 市街地と新幹線駅を結ぶ道路の整備、ボトルネックの解消による東西市街地の連絡性の向上が求められている。 ・ 北上川に架かる小谷木橋の架け替えが求められている。 ・ 金ヶ崎町とを結ぶ仮称満永橋の架橋が求められている。 ・ 路肩が不十分なことや未舗装道路の存在が問題点として指摘されており、その充実が求められている。 ・ 市街地では防災上の面から行き止まり道路や狭隘道路などの解消が求められている。 ・ 狭い歩道の植栽の撤去が求められているほか、除雪のあり方について意見が出されている。 ・ 国道 397 号は、歩道が狭く危険との指摘があり、歩道整備が求められている。 ・ 通学路への歩道の整備が求められている。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市内循環バスなどが評価される一方、運行ルート等に対する問題も指摘されている。 ・ 新幹線駅と市街地を結ぶ公共交通の連絡性の強化等も求められている。 ・ 総合的な交通施策の導入について求められている。
環境・景観・資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森、田畑等がたくさんあることが良いと評価されている。 ・ 乙女川では、美化活動等の取り組みが行われ、水質向上により鮭が遡上してくるなど効果が見られている。 ・ 胆沢川や北上川では、水に親しめる空間が不十分との指摘があり、その整備・充実が求められている。 ・ 胆沢城跡、武家屋敷など、地区に残る歴史・文化資源は守りたいものとしてあげられている。 ・ 胆沢城跡の復元のほか、歴史・文化資源を活用した街並みの整備などが求められている。 ・ 不法投棄の対策が求められている。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水沢公園は高い評価をうけている。 ・ 一方で、公園が不足しているエリアもあり、身近な公園の整備が求められている。 ・ 桜やツツジの花等が良いと評価され、それを活用した景観づくりが求められている。 ・ トイレが冬期間使えないことが問題として指摘され、その改善が求められている。 ・ 公園等の樹木の剪定が求められている。
人にやさしい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 波打っている歩道のバリアフリー化が求められている。 ・ 福祉施設や医療施設の不足が問題として指摘されており、その充実と集約化などが求められている。 ・ 水沢公民館周辺への駐車場の設置などが求められている。 ・ 地域コミュニティの形成における挨拶の重要性が指摘されている。 ・ 廃屋の問題が指摘されており、撤去の基準づくりが求められている。 ・ ゆとりある住宅地づくりが求められている。 ・ 下水道整備の推進が求められている。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急車両の進入が困難なエリアに対して、道路の拡幅が求められている。 ・ 防災公園の整備、防災マップの充実などが求められている。
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若者の集まる場、観光客を呼べる場などの創出が求められている。 ・ 街なかへの多様な施設、機能の誘導やそのネットワーク化（歩いて楽しめる通りづくり、観光ルートづくり、巡回バスの運行など）が求められている。 ・ 他の地域自治区との交流の場や機会の創出、市民憲章のPRなどが求められている。

まちづくりキャッチフレーズ

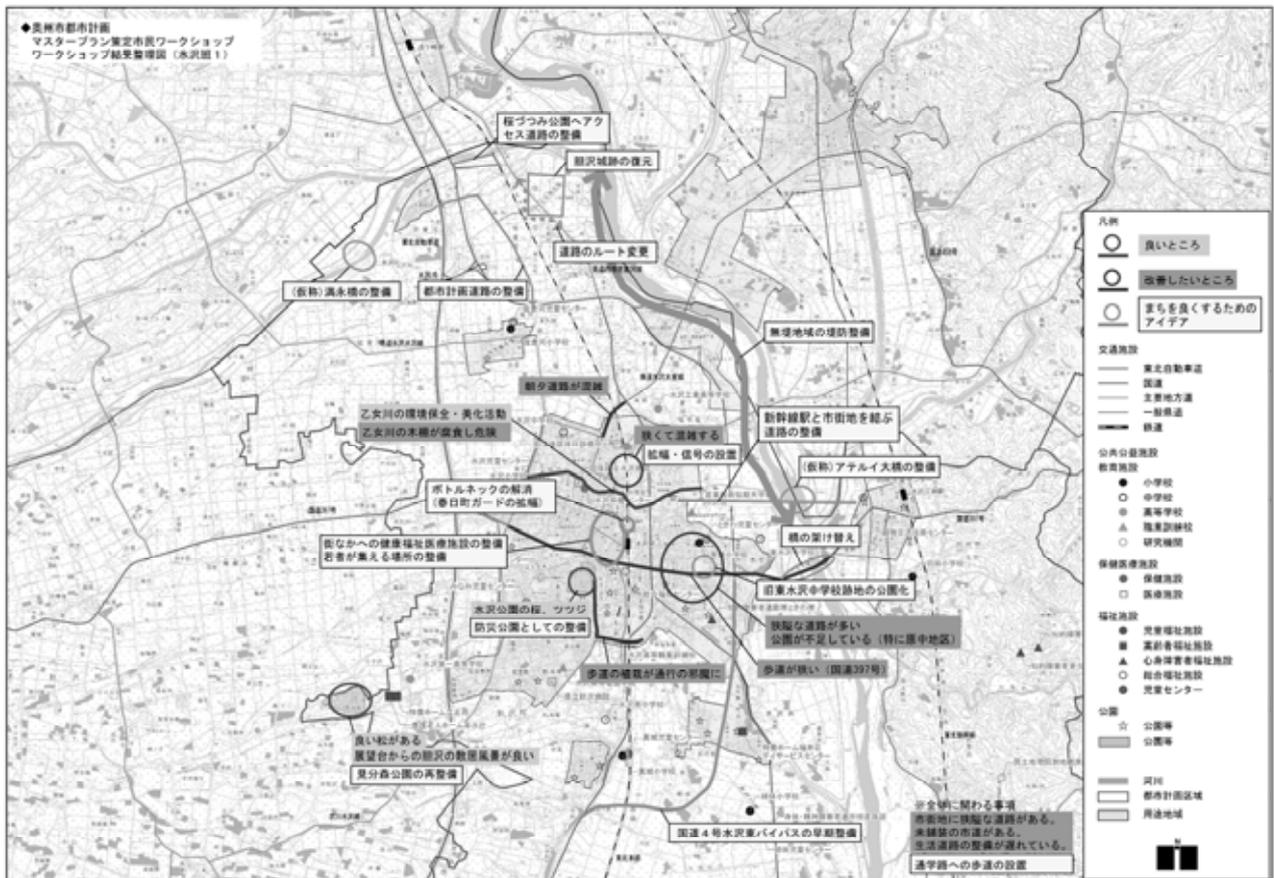
決定	歴史・文化が息づく世界に誇れるまちづくり	
最終候補	歴史・文化が息づく世界に誇れるまちづくり 水と緑が豊かで歴史、文化が息づくまちづくり	
その他案	緑と水と三偉人 歴史がいきづき文化のかがりが高い健康で明るいまち 水と緑・歴史文化の共生の街づくり 水とお米と三偉人 水と緑の街 おいしい水と空気と子供たち	美しい星空の下で暮らせる街 自然と歴史が共生するまち 思いやりのある町づくり 都市と農山村の連携によるまちづくり 文化の香り豊かなまち 歴史いきづく緑の里 公園から子どもたちの童謡が聞こえる街

キーワード	【自然】 自然 水 緑 星空 空気 【歴史・文化】 歴史 文化 三偉人 童謡 【物産】 米 鋳物	【その他】 暮らし 健康
-------	--	--------------

将来像を実現するために重点的に取り組むこと

協働で取り組むテーマ	考え方	行政の役割	地域の役割
水と緑の保全と活用	水と緑は、地区にとって重要な要素であり、地区の水と緑を保全するとともに、まちづくりに活用していく必要がある。	公園、水辺などのハード面の整備等	維持・管理、美化活動等
歴史・文化の継承	将来像にもあるように、武家屋敷、三偉人、胆沢城跡などの点在する歴史・文化資源は、地区にとって貴重な財産であり、行政、地域が一体となって保全、活用、PRしていく必要がある。	歴史回廊の整備、昔話の保存等	歴史・文化の掘り起こし、伝承等
子ども教育の充実	次世代を担う子供たちへの教育の取り組みも重要であり、三偉人の生き方の教育、市民の歌の浸透などを通じて、教育の充実を図っていく必要がある。	三偉人の教育・PR等	
世界の人に見せられるまちづくり	地区が有する水、緑、歴史、文化などを活かし、景観の整備、街並みづくりを行い、世界の人に見（魅）せられる、アピールできるまちづくりが必要である。	景観の整備、街並みづくり等	

ワークショップ結果整理図



水沢班 2

地区の現状と課題

	現状と課題
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国道4号水沢東バイパスの早期完成と延伸が求められている。 ・ 主要地方道一関・北上線は、交通事故が多いため道路線形の見直しが求められている。 ・ 北上川に架かる橋に歩道がなく危険であることが指摘され、改良が求められている。 ・ 市街地と新幹線駅を結ぶ橋梁（道路）の整備や小谷木橋の架け替えが求められている。 ・ 人を中心とした道路の整備や緊急車両の通行に配慮した道路の整備が求められている。 ・ 正法寺周辺に大型バスがUターンする場所がないことが問題として指摘されている。 ・ 地域住民のボランティアによる歩道の維持管理が求められている。 ・ 幹線道路や通学路等における歩道の整備・充実が求められている。 ・ 住宅団地内の広幅員道路でのスピードの出し過ぎによる事故の発生が問題として指摘されており、速度の抑制などが求められている。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 循環バスの増便、バスの小型化などが求められている。 ・ 道の駅の駐車場が狭いことが問題として指摘されている。
環境・景観・資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林、里山の自然環境・景観が高く評価されている。 ・ 田園風景が良いと評価されている。 ・ 北上川は、良好な自然環境・景観資源として高く評価され、保全、活用すべきものとして考えられている。 ・ その他の河川も、蛍の乱舞、鮭の遡上など、良好な自然環境が評価されている。 ・ 地域住民による草刈等が行われているが、一方で、河川敷は雑木が繁茂するなど荒れていると指摘されている。 ・ 水辺を保全・活用するために、堤防の整備、水辺に近づける工夫、トイレの設置、看板の設置などが求められている。 ・ 正法寺、黒石寺、出羽神社等は守りたいものとしてあげられ、その活用のため環境整備や歴史回廊の整備などが求められている。 ・ 羽田地区を中心とする鋳物製造技術が高く評価されており、それを広く伝えるための歴史館の建設などが求められている。 ・ 環境を阻害するものとして、ごみの不法投棄があげられているが、不法投棄監視員制度が効果を発揮しているとの意見もある。 ・ 水沢江刺駅周辺の悪臭について対策が求められている。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふれあいの丘公園が評価されている。 ・ 水沢公園の桜群の評価が高く、維持保全が求められている。 ・ 児童公園等の維持管理が不十分との指摘がある。 ・ ボランティアの草刈燃料代等に対する補助が求められている。
人にやさしい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療施設は、ある程度整っていると評価されているが、福祉施設のない地区があり、配置バランスが悪いと指摘されている。 ・ 公共公益施設は、整備が進んできていると評価されている。 ・ 競馬場施設の市民開放や公認競技場の整備が求められている。 ・ 市全体の統一感（協調性）の醸成が必要との指摘がある。 ・ 身近な単位での交流の場や機会の充実が求められている。 ・ 住宅地周辺の遊休農地の有効利用が求められている。 ・ 下水道は整備が進んできていると評価されている。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域ではカスリン台風等を教訓にして、防災に関する各種取り組みが行われている。 ・ 北上川沿いでの水害の発生が問題点として指摘されており、北上川の堤防整備や雑木の伐採などが求められている。
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光客を呼べる場がないことが問題として指摘され、市全体での観光ルートづくりが求められている。 ・ 市を支える産業がないことが問題との指摘もされ、働く場所の確保が求められている。 ・ 多様なイベントが評価されている。一方で、少子化により維持が難しくなっていることが指摘されている。

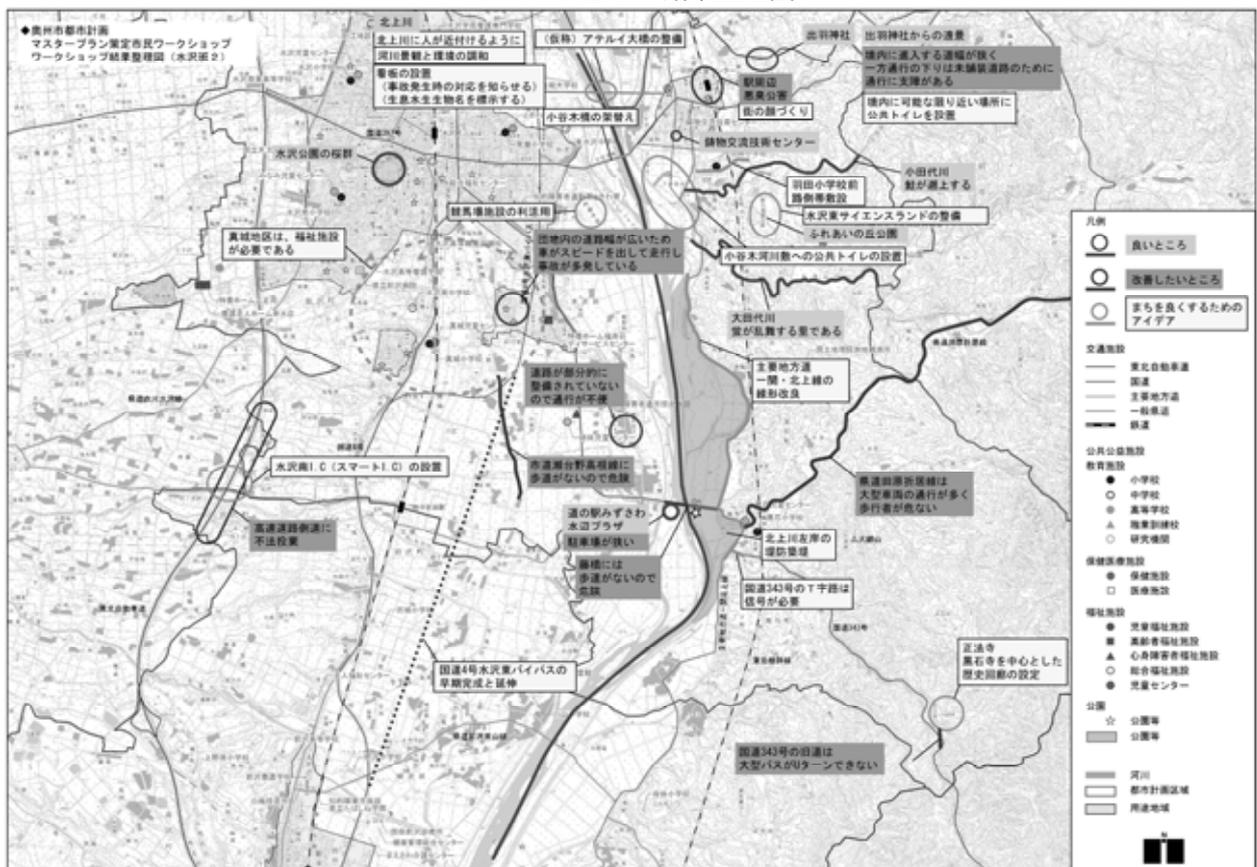
まちづくりキャッチフレーズ

決定	北上川エリアの豊かな歴史・文化・自然のあるまち	
最終候補	北上川エリアの豊かな歴史・文化・自然のあるまち 北上川エリアの豊かな歴史・文化・自然を生かしたまち	
その他案	歴史と文化香る優しい自然景観の町 水沢 昔を知り、今を知り、明日が見える歴史の里 水と緑と結いの街 奥州 水辺との共生 農村の良さを生かしたまちづくり	ゆったりした里山の暮らし 都市と農村の連携するまちづくり 自然にやすらぐ緑と川 農村の環境を守るエリアづくり
キーワード	【自然】 北上川 自然 水辺 緑 【農業】 里山 農村 【その他】 暮らし	【歴史・文化】 歴史 文化 歴史 文化 結い 都市 ゆったり

将来像を実現するために重点的に取り組むこと

協働で取り組むテーマ	考え方	行政の役割	地域の役割
水辺環境の保全と活用	水辺は、地区の重要な資源であり、水辺環境の保全とともに、親しめる場の創出など、まちづくりに活用していく必要がある。	ボランティア活動の支援 北上川雑木の伐採 河川敷小公園の公園指定	河川清掃
奥州市らしさを感じられるまちづくりの検討	合併した奥州市ならではの個性を發揮していくため、奥州市らしさを追求していく必要がある。	奥州市らしさを感じられるまちづくりの検討	正法寺、黒石寺を中心とした歴史回廊の整備(エピソードの掘り起こしなど)
観光拠点の整備	観光地は、市民はもとより多くの来訪者の集まる場であることから、魅力を高め、滞在時間を伸ばす取り組みが重要である。	神社仏閣のトイレ等公共施設や駐車場の整備	
遊休農地の利用	遊休農地が目立っており、その利活用を検討していく必要がある。	遊休農地の利活用の検討	遊休農地を提供

ワークショップ結果整理図



江刺班 1

地区の現状と課題

	現状と課題
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的な道路網は、概ね整備されていると評価されている。 ・ 一方で、地区レベルでは幹線道路において一部未改良区間があり、その整備が求められている。 ・ 橋梁の老朽化、狭さなどが問題として指摘されている。 ・ 生活道路では、未舗装や狭隘な道路の存在が問題点として指摘されており、その充実が求められている。 ・ 街路樹や歩道植栽の維持管理、徐雪のあり方などの意見が出されている。 ・ また、地域の組織化と官民一体となった維持管理の必要性が出された。 ・ 歩道が設置されている道路が多いと評価される一方で、通学路等において歩道がない区間があることが指摘され、歩道の設置が求められている。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者にやさしい公共交通機関の充実と利用促進が求められている。
環境・景観・資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ リンゴの花等の保全と活用について、求められている。 ・ 田園や農村の景観が高く評価されているが、休耕による農地の荒廃の問題も指摘されている。 ・ 北上川流域の整備と美化の推進が求められている。 ・ その他の河川も保全、活用すべきものとしてあげられている。 ・ 水辺の楽校の活用、サイクリングロードや散策路の整備などが求められている。 ・ 人首川等ではEM菌を活用した清流化に取り組んでおり、自然孵化の鮭が遡上してくるなど、一定の効果が見られている。 ・ 一方で、水質の悪化や魚が遡上できないなどの問題も指摘されており、水質改善や魚道の整備等が求められている。 ・ 静かな街並みが良いと評価されている。 ・ 地域に残る歴史・文化資源の保存活用が求められている。 ・ 景観に関しては、見せること、見られることに配慮した取り組みが求められている。 ・ 景観を阻害しているものとして、ごみの不法投棄、野焼き、維持管理の悪い交通安全標識等があげられている。 ・ ゴミの不法投棄は、山林や山間地、河川敷、道路沿い等で見受けられる。 ・ 環境改善活動に対するボランティア参加の意識の醸成が図られてきていると評価されている。 ・ 家畜処理業者からの悪臭による環境悪化が指摘されている。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 向山公園の利用が低調であることが指摘されている。 ・ 館山地区の学校跡地利用計画が示されていないとの意見が出されている。 ・ 夢の架け橋の利用促進が求められている。 ・ 川西グラウンド、愛宕総合運動場の桜並木は評価が高く、地域ごとの花園の設置などが求められている。 ・ 桜並木の維持保全について、求められている。 ・ 農村公園等では、住民による管理が積極的に行われている。 ・ 公園をさらに良好なものとするため、遊具の整備等が求められている。
人にやさしい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道の段差の問題が指摘されている。 ・ また、冬季における歩道の路面の凍結時への対応策の検討も求められている。 ・ 公共施設が散在していることが問題として指摘されている。 ・ 小学校移転に伴う中学校との一体的環境整備、地区センターへの宿泊機能の拡充、避難場所への案内の充実などが求められている。 ・ 高齢者に対する生活支援や交流の場づくりが進められていることが評価されている。 ・ 交流促進ためのウォーキングコースの設定などが求められている。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災意識が徹底してきていることや北上川大堤防の構築が評価されている。 ・ 一方で、災害の危険性のある地区が指摘されている。 ・ 災害に対する対応策として、狭隘道路の改善、避難場所や災害時の組織体制の充実などが求められている。
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 岩谷堂地区は、都市機能がコンパクトに集積していることが良いと評価されている。 ・ 岩谷堂地区の活力の低下が指摘されており、街なかの活性化が求められている。 ・ 「ふるさと市場」の賑わいが評価され、拡充についての意見も出されている。
その他（情報・防犯等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 用途地域の見直しに関する意見が出されている。

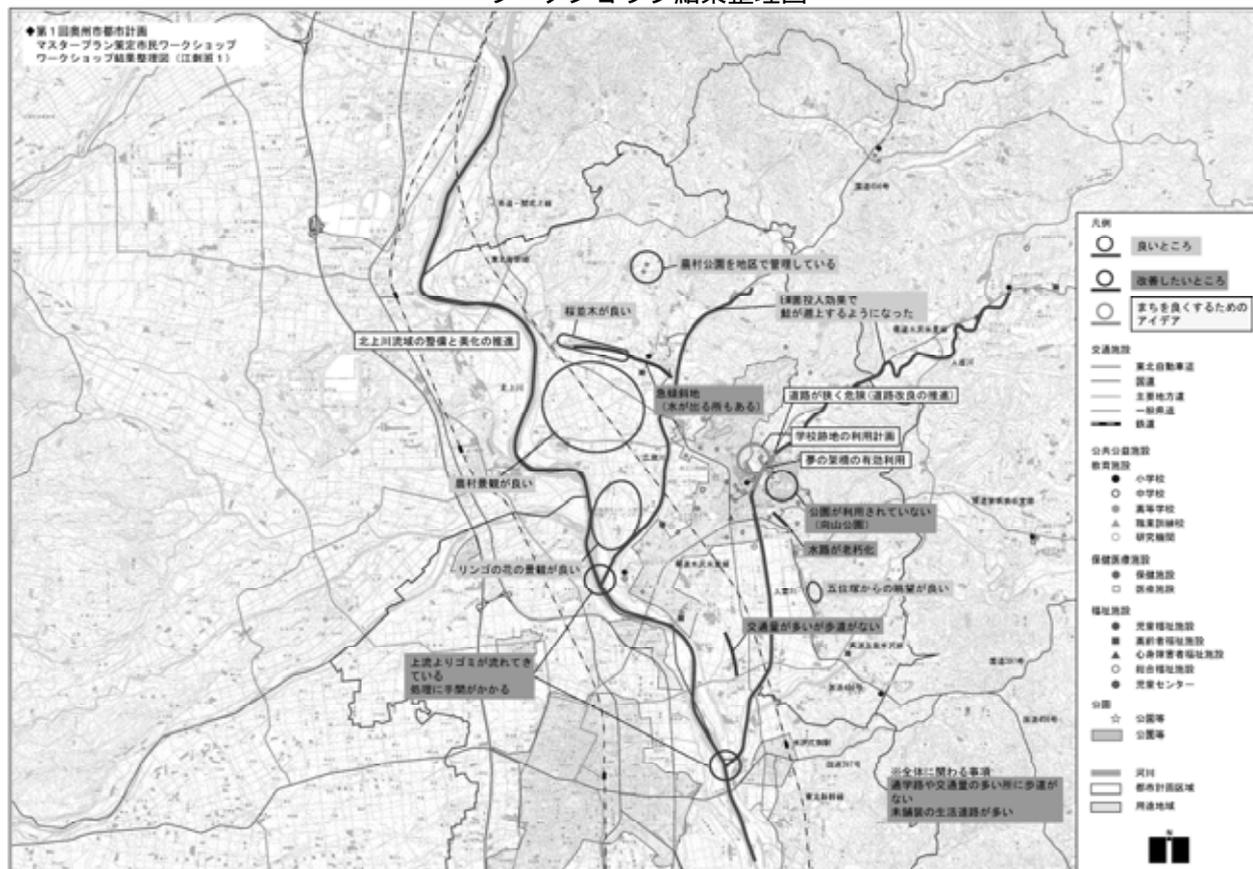
まちづくりキャッチフレーズ

決定	地域が仲良く、水と緑とうるおいのある田園都市		
最終候補案	みのりとうるおいのまち江刺 農村文化の花咲くまち	水と緑とふれあいのまち	
その他案	みんなが心おどるまち 地域が仲良く暮らす いのち花咲く	農村文化田園都市 心がおどるまち きらきら輝く水	住みたいまち 桜の里
キーワード	【自然】 水 緑 花 桜 【生命】 みのり いのち 【その他】 うるおい 住みたい	【歴史・文化】 農村文化 【コミュニティ】 ふれあい 仲良く	田園都市 にぎわい 心おどる

将来像を実現するために重点的に取り組むこと

協働で取り組むテーマ	考え方	行政の役割	地域の役割
館山地区の学校跡地の利用	館山地区の跡地は、江刺区中心部の貴重な空間であり、中心部全体の回遊性を高める空間形成の一つとして、向山公園等も含めた一体的な空間整備を行う必要がある。	跡地利用計画の策定、教育環境整備等の将来像の提示、ウォーキングコース等の整備等	ソフト施策の実施
(命=)防災の向上	命は、まちづくりの基本であり、安全安心の環境づくりに向け、防災性の向上に取り組む必要がある。	災害避難所の明示、情報通信網等の基盤整備	防災組織の立ち上げなど地域体制の整備
水辺環境の整備	北上川をはじめ、水辺環境は、地区にとって重要な要素であり、まちづくりに活用していく必要がある。	水辺地等の整備	環境美化・維持管理活動等
道路の整備	道路は、生活の基盤となるものであり、今後とも、充実を図る必要がある。	歩道、街路樹、路面舗装等の整備	環境美化・維持活動等
農業と農村景観・文化の向上	本地区の基盤産業であり生活文化を形成してきた農業の発展に取り組む必要がある。	農業基盤の整備 野焼きのできる範囲の設定	圃場の美しさと食糧のPR、直売店の設置等

ワークショップ結果整理図



江刺班 2

地区の現状と課題

	現状と課題
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幹線道路は概ね整備されているが、部分的に地域間を結ぶ道路の整備が求められている。 ・ 老朽化した橋梁の架け替えが求められている。 ・ 地区全域について、未舗装道路の存在が問題点として指摘されている。 ・ 大型車両の交通量が多い県道で、歩道が十分でなく危険との指摘がある。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ バスの運行ルートに対する問題が指摘されている。 ・ スクールバスの有効利用について求められている。
環境・景観・資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林、里山が有する自然環境・景観が高く評価されている。 ・ 一方で、山林が荒れているとの指摘があり、対応策として山林のオーナー制が求められている。 ・ 農村環境は景観としても良いと評価されている。 ・ 湧水が良い資源として評価されている。 ・ 河川の水質の悪化や魚が遡上できないなどの問題が指摘されており、水質改善や魚道の整備等が求められている。 ・ 地区に残る歴史・文化資源は守りたいものとしてあげられ、その活用が求められている。 ・ 地域の良さを自覚していないとの意見がある。 ・ ゴミの不法投棄は、山林や山間地、道路沿い等で見受けられる。 ・ 砕石場、産業廃棄物処理場の騒音、大気汚染があげられている。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園、緑は十分にあると評価されている。 ・ 一方で、施設の老朽化があげられている。
人にやさしい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 墓地公園、ゴルフ場、県南家畜市場は、集客性の高い施設と評価されている。 ・ 官公庁、商店の集積のないことが問題としてあげられている。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 水害の多さが指摘されており、災害未然防止のため伊手川の護岸整備が求められている。
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 街並み、賑やかさのないことが問題としてあげられている。 ・ 地区全体の祭りのないことも問題としてあげられている。 ・ 産直が評価されているが、その商品開発が求められている。 ・ 後継者定住にむけて、雇用の場の確保が求められている。 ・ 農村と都市の交流、更には農村暮らしの斡旋なども求められている。
その他（情報・防犯等）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き屋が多くなっているとの指摘がある。

まちづくりキャッチフレーズ

決定	活力のある安心して住めるふる里	
最終候補	住み続けたいふる里 安心して住める地域づくり	
その他案	元気はつらつ笑顔社会 笑顔で暮らせる三世代 活力のある地域 安心して住み続けたいふる里	安心して住み続けたい元気社会 自然環境・人材の活用ができる地域社会の育成 (構築)
キーワード	【元気】 活力 元気 笑顔 【自然】 自然環境 【歴史・文化】 三世代 【その他】 安心 住み続ける ふる里 人材	

江刺班 3

地区の現状と課題

	現状と課題
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）江刺田瀬インターチェンジ設置の波及効果に期待が寄せられ、市街地とインターチェンジを結ぶ幹線的な道路等の整備が求められている。 ・水沢江刺駅と水沢区市街地を結ぶ道路の整備が求められている。 ・生活道路の整備率の低さが指摘され、その充実が求められている。 ・人首川沿いの散策道、歴史・自然の探索コースの設置、義経北行の道などの整備について求められている。 ・主要地方道水沢米里線の歩道整備が求められている。 ・主要地方道江刺東和線や県道口内伊手線において急カーブの緩和が求められている。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・バスは移動時間の長さや料金の高さが問題として指摘され、料金の見直しなどが求められている。
環境・景観・資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ブナ林などの自然環境・景観が良いと評価されており、その保全と活用が求められている。 ・種山高原を活かした都市と農村との交流促進のほか、里山の整備、木材の活用などが求められている。 ・人首川の水や湧水が良いと評価され、その保全や飲用水の取水地点の整備が求められている。 ・人首川の改修や水路などの整備が求められている。 ・頭首工への魚道の設置が求められている。 ・神社仏閣の保存のほか、郷土芸能の復活・伝承が求められている。 ・県道玉里水沢線から水沢江刺駅に至る区間の景観の保全が求められている。 ・ゴミの不法投棄は、河川敷、山間部、市境等で見受けられる。 ・一斉調査と監視の徹底が求められている。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・ミニ運動公園や歴史的公園の整備・充実が求められている。 ・花を利用した環境美化が求められている。
人にやさしい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・福祉施設の不足が問題として指摘されており、在宅介護センターや診療所の設置などが求められている。 ・お茶っ子の会の普及、ボランティア活動の充実、国際結婚の受け入れ体制の充実などが求められている。 ・増加している空き家対策として、相談窓口の設置などが求められている。 ・梁川地区では、上下水道の整備の遅れが指摘されている。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・広瀬川、口内川の河川改修が求められている。 ・消防分署の設置、緊急時情報通信網の整備、自主防災組織の充実などが求められている。
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・園芸センターや多様な地場産品があることが評価されている。 ・地場産品の生産拡充、販売促進のための拠点施設の整備やPRなどが求められている。 ・藤原の郷と連携した観光拠点の整備、観光ルートづくりが求められている。
その他 (情報・防犯等)	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話等の通信状態が悪いことが指摘されている。

まちづくりキャッチフレーズ

決定	人と自然 光り輝くゆとりの里	
その他案	人と自然光り輝く 水と緑と太陽 獅子と蛍の舞う里	住みたい地域 住ませたい地域 いきいき奥州の里
キーワード	【自然】 水 緑 自然 太陽 蛍 【耀き】 光り輝く いきいき 【住】 住みたい 住ませたい 里 【歴史・文化】 獅子	

前沢班

地区の現状と課題

	現状と課題
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域間を結ぶ道路の拡幅（狭隘区間の改良）が求められている。 ・ 市街地に関しては、中央線の整備や東西を結ぶ道路の整備が求められている。 ・ 北上川に架かる大曲橋、赤生津橋の老朽化、狭さが問題として指摘されている。 ・ 小学校や幼稚園等へのアクセス道路の充実が求められている。 ・ 白鳥館遺跡へのアクセス道路の整備が求められている。 ・ 市道白鳥線は、道路補修が追いついていないことが指摘されている。 ・ 道路用地や JR 東北本線の法面など雑草の除去や法面の美化が求められている。 ・ 幹線道路、生活道路の歩道の整備、充実が求められている。 ・ 通学路については、歩道の整備、充実のほか、危険箇所の解消が求められている。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前沢駅へのアクセス性は評価されているものの、バスの便が不便との指摘があり、市内循環バス等の運行などが求められている。
環境・景観・資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北上川東側の山々の景色が良いと評価される一方、管理が行き届かないことが問題として指摘され、適切な管理が求められている。 ・ 万年の森は、視点場としても高く評価されており、森林公園としての計画的整備と環境学習の場としての活用が求められている。 ・ 後継者不足による農地の荒廃が指摘されている。 ・ このため農業の活性化が求められている。 ・ 北上川は、良好な自然環境・景観資源として高く評価され、その保全・活用が求められている。 ・ ほ場整備等が水路の環境・景観を阻害しているとの指摘があり、通年通水、魚道等の整備が求められている。 ・ 岩堰川の土砂の堆積、雑木の繁茂等の問題が指摘され、憩いの場としての整備が求められている。 ・ 歴史的建造物の修理が求められている。 ・ 景観を阻害しているものとして、鉄塔等があげられている。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園利用者が少なく、公園整備よりも自然環境の保全が必要との意見がある。 ・ 公園の管理方法について検討が必要との意見も出されている。
人にやさしい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書館の老朽化が指摘されている。 ・ 公共施設における禁煙・分煙化、総合支所の議場の有効活用などの意見が出されている。 ・ 地域の結び付きや行政と住民との交流が少なくなってきたことも指摘されている。 ・ コミュニティの再生・活性化のため、小学校を中心とした交流促進等も求められている。 ・ 障害者も働いて住めるまちづくりが求められている。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北上川沿いは水害の常襲地であり、堤防の整備が求められている。 ・ 治山・砂防工事等が必要との意見もあげられている。
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大型店舗への依存を危惧する声もあり、前沢駅周辺については工場や事務所の誘致による複合的な市街地の形成が求められている。 ・ このほか、農村部での農産物直売所の設置、集会等の有効活用、地域にある技術の継承などが求められている。

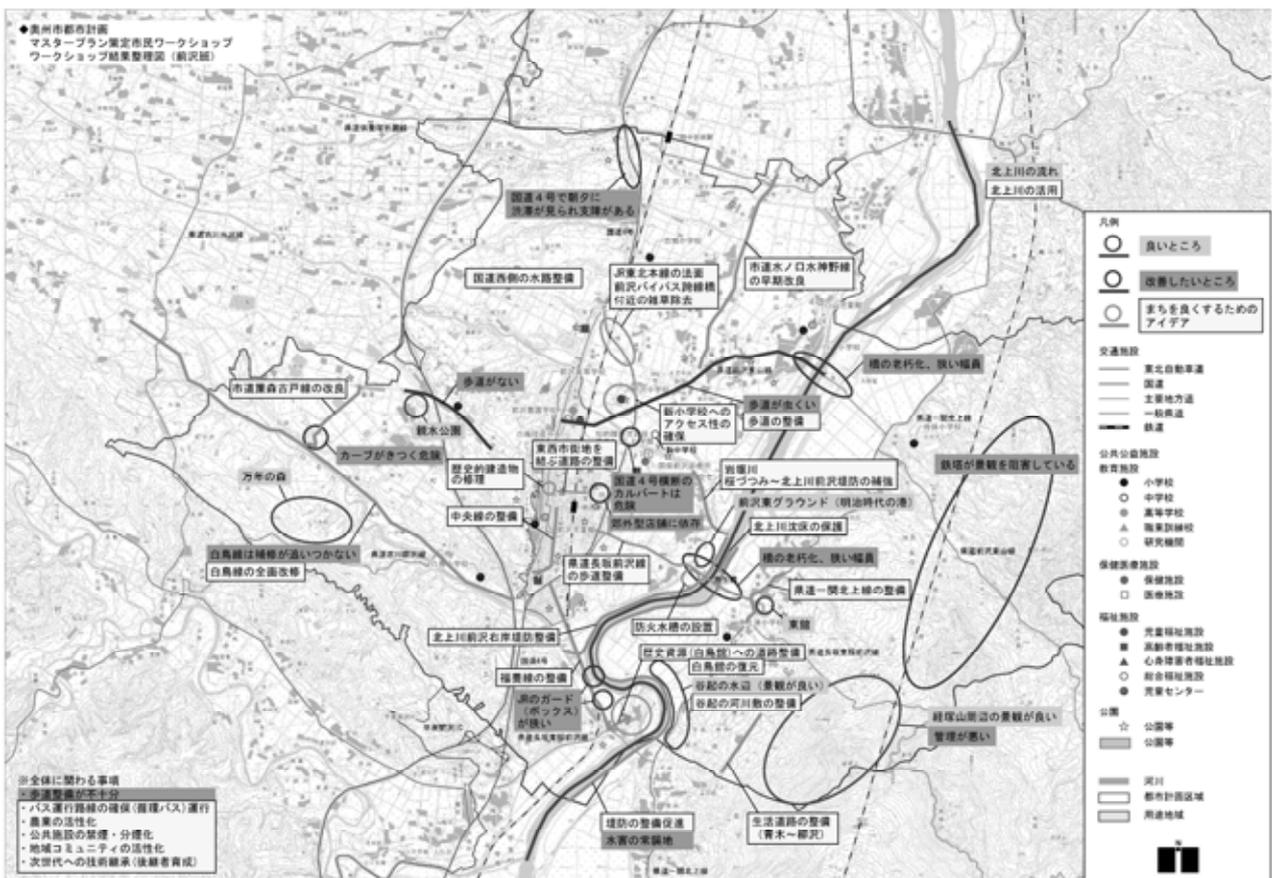
まちづくりキャッチフレーズ

決定	活力に満ちた桜梅の郷	
最終候補	桜梅の里・住みたくなる郷 快適・活力に満ちる町	
その他案	元気の出るまち前沢 水陸万頃(すいりくばんけい)の郷	水と空気のうまいまち前沢 稔り豊かで安全なまち前沢
キーワード	【自然】 稔り豊か 桜梅 水陸万頃 水 空気 【その他】 快適 安全 住みたくなる 活力	

将来像を実現するために重点的に取り組むこと

協働で取り組むテーマ	考え方	行政の役割	地域の役割
地域の活性化	空き店舗が目立っており、通りの賑わいを戻すためには、これらの利活用に取り組むことが重要である。	空き店舗対策等の企画立案	空き店舗の活用
地域資源の活用	歴史等の地域資源が消失しつつある。地域資源は、地区の個性、生活文化を語り継ぐものであり、維持継承する取り組みは重要な取り組みでもある。地域資源の活用に向けて、歴史資源の見直し等に取り組む必要がある。	歴史、文化、自然資源の維持、管理体制の整備	歴史資源の見直し、維持、美化活動
水害に強いまちづくり	北上川の水害の常襲地であり、水害に強いまちづくりを推進していく必要がある。	堤防、水路等の整備	自主防災体制の整備

ワークショップ結果整理図



胆沢班

地区の現状と課題

現状と課題	
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路網は整備されているとの意見があるが、国道 397 号については歩道設置や再整備が求められている。 狭隘道路は防災上の危険性が指摘され、整備の充実が求められている。 胆沢ダム周辺などで、森林保全のための林道の整備、自然とのふれあいのための散策路等の整備が求められている。 国道 397 号の通年通行の確保が求められている。 交差点に道路標識等がなく、現在地が分かりにくいとの指摘がある。 国道や広域農道等の交通量の多い道路で、歩道が十分でなく危険との指摘があり、歩道の整備、横断歩道の設置などが求められている。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> 福祉バスの充実、小型バスの運行等、公共交通の充実が求められている。 駅や観光拠点同士を結ぶネットワークの構築も求められている。
環境・景観・資源	<ul style="list-style-type: none"> 焼石岳、胆沢ダムがあることが良いと評価されている。 ブナの原生林、水源地等も含め森林の保全が求められている。 森林の適切な管理と地元木材の利用促進などが求められている。 散居景観の保全と見せるための工夫が求められている。 地域に広く分布する湧水は、保全、活用すべきものとされている。 胆沢川では、五松林橋付近を水辺公園として整備することが求められている。 水辺整備に際して生態系への配慮が求められている。 農業用水路の三面張りは自然環境を阻害していることから、自然環境に配慮した水路づくりが求められている。 仙北街道、大清水上遺跡は、守りたい歴史・文化資源としてあげられている。 胆沢ダム周辺は、大清水上遺跡を活かした整備が求められている。 胆沢ダムとひめかゆ温泉が、うまく活用されていないと指摘されている。 景観を阻害しているものとして、ごみの不法投棄があげられている。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> 住宅団地内の小公園の整備が求められている。 万年の森や角塚古墳公園周辺の整備などが求められている。 国道 397 号沿いの桜並木や胆沢川沿いの景観が良いと評価されている。 遊具の維持管理が悪い、トイレが冬期間使えないなどの問題が指摘されている。 見分森公園展望台からの眺望確保のための木の伐採や、サイクリングロードの指定などが求められている。
人にやさしい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> 公共公益施設のバリアフリー化の推進が求められている。 医療・福祉施設が整備されているとの意見がある一方、老人ホームについては足りないとの意見もある。 子育て支援のため施設・仕組みの充実が求められている。 胆沢総合支所周辺に公共公益施設が集まっていることは評価されている。 中学校や公民館の老朽化が指摘されており、中学校の整備（統合）や施設の案内板の充実等が求められている。 管理運営まで考えた施設整備、地域による施設の管理運営が必要との意見が出されている。 三世代同居が多いことが世代間の交流やコミュニティの維持につながっていると評価されている。 合併により水道料金が高くなったことが問題点としてあげられている。 浄化槽等の汚水処理施設の整備が求められている。
防災	<ul style="list-style-type: none"> 耐震補強がなされていない学校、公民館等の施設があることが問題として指摘されている。 避難場所の表示、安全対策、消火栓の設置など、災害に対する対策が求められている。
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> 散居としての静けさが良いと評価され、娯楽施設等による賑わいは不要との意見も出されている。 平泉の文化遺産、藤原の郷、胆沢ダム、温泉の活用と連携による賑わいづくりが求められている。
その他（情報・防犯等）	<ul style="list-style-type: none"> 防犯灯の設置を求められている。

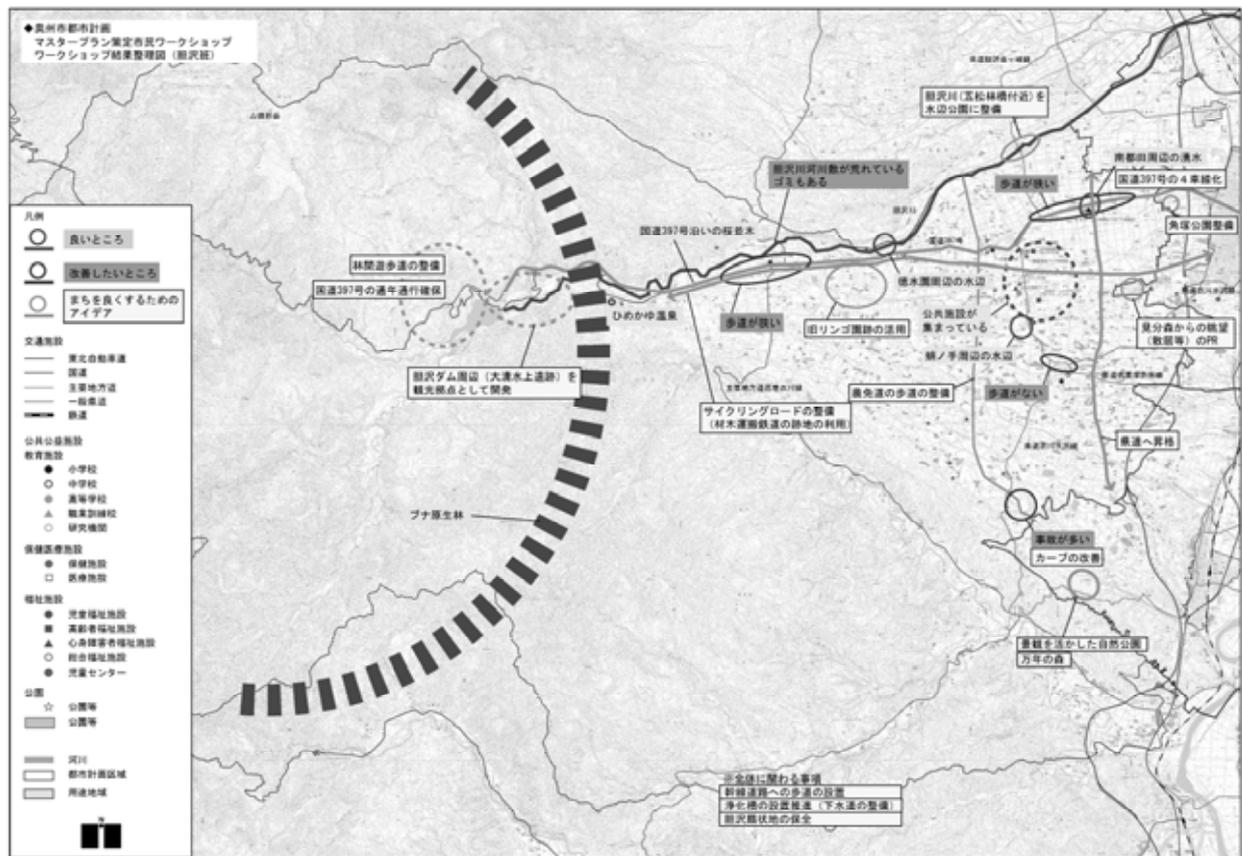
まちづくりキャッチフレーズ

決定	水と緑と散居の郷いさわ(メインタイトル) 古墳と豊かな稔りに恵まれたまち(サブタイトル)	
その他案	稔り豊かな郷土 稔り豊かな古墳の郷	前方後円墳のあるまち 歴史と豊かな稔りに恵まれたまち
キーワード	【自然】 水 緑 稔り豊か 【その他】 郷 郷土 恵まれた	【歴史・文化】 散居 前方後円墳 歴史

将来像を実現するために重点的に取り組むこと

協働で取り組むテーマ	考え方	行政の役割	地域の役割
胆沢扇状地の保全	胆沢扇状地は、農業生産などを育む良好な自然環境の源であり、この環境を維持し、次世代に引き継いでいく必要がある。	ほ場整備事業、基盤整備に伴う生態型水路の整備や湧水の保全	胆沢扇状地内の動植物への手入れ・養護、周辺の自然環境の管理・保全活動
散居を眺望する視点場の整備とPR	散居の風景は、季節ごとに表情を変え、その都度、人に感動を与える。その魅力を発信し、集客の拠点とするため、視点場の整備やPRへの取り組みも必要である。	見分森公園の展望台の整備	エグネの保存・管理
ダム周辺の環境保全・活用	胆沢ダム周辺は、ブナ林など豊かな自然環境を有するが、観光拠点としての整備も望まれている。観光拠点化にあたっては、環境の保全を維持した取り組みが必要である。	胆沢ダム周辺の観光地としての整備及び自然保護対策	里山・ブナ林の整備 除草等の管理・美化活動、グリーンツーリズムの取り組み等
歴史文化の継承	歴史文化を次世代に引き継ぐため、文化財周辺を保全・整備する必要がある。	大清水上遺跡、角塚古墳などの周辺を整備	歴史・文化の継承
幹線道路の整備	幹線道路は、地域の活動を支える基盤であり、整備を推進する必要がある。	道路網の整備、道路の補修	用地の提供、花壇づくり等

ワークショップ結果整理図



衣川班

地区の現状と課題

	現状と課題
道路整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内の道路整備は進んでいると評価されているが、地区外とを連絡する道路が不十分との指摘があり、その整備が求められている。 ・ 生活道路は、舗装率の高さが評価されている。 ・ 万年の森への連絡道、野球場と衣川小をつなぐ遊歩道、フラワーロードの整備などが求められている。 ・ 長者ヶ原廃寺跡等への連絡性を高めるため、旧衣川橋の付近への駐車場整備が求められている。 ・ 新規の道路建設より道路の維持・補修等が重要との意見があげられている。 ・ 区中心部には雪捨て場所がないため、場所の指定が求められている。 ・ 県道愛宕瀬原線及び栗駒衣川線歩道未設置区間の早期整備が求められている。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通が不十分との指摘が多く、小回りの利くバスの運行やスクールバス等の利活用などのアイデアが出されている。 ・ 前沢駅の駐車場の充実について、求められている。
環境・景観・資源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然環境、景観、眺望が高く評価される一方、管理が行き届かないことが問題として指摘されている。 ・ 長期的な視点から、広葉樹の植樹、間伐などによる、森林・里山の適正管理が求められている。 ・ 休耕による農地の荒廃の問題が指摘されており、農地の活性化、担い手確保が求められている。 ・ 河川、滝、湧水、ダム等は良いと評価され、保全、活用すべきものとしてあげられている。 ・ 長者ヶ原廃寺跡などの遺跡、伝統文化・芸能などが評価されているが、十分活用されていない、後継者がいないなどの問題が指摘されている。 ・ 歴史、史跡の再現やPRが求められている。 ・ その他の地域資源として温泉があげられている。 ・ ごみの不法投棄等の問題が指摘されている。 ・ 対策としては、不法投棄の通報体制の整備が求められている。
公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供たちと遊べる公園、空間の整備や憩いの場としての森づくりなどが求められている。 ・ 整備にあたっては、計画段階から話し合いが必要との意見が出されている。 ・ 万年の森の活用、万年の森と一首坂の連携が求められている。
人にやさしい・住みやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の分散や不足などが問題と指摘されている。 ・ 使われていない施設の有効活用、子供と老人の交流の場の整備などが求められている。 ・ 人間味があるとする一方、結いの心がなくなってきたとの指摘もある。 ・ 方言を残すことなども求められている。 ・ 水道の整備率は高いと評価される一方で、水対策を求めている地区もある。 ・ 下水道(浄化槽)の整備が求められている。
防災	<ul style="list-style-type: none"> ・ 山際の住宅地の危険性、高齢化に伴う自主防災組織機能の脆弱さなどが指摘されている。 ・ 各戸情報の図面化など災害救助に役立つ情報の整備・活用が求められている。
賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーンツーリズムは高く評価され、受け入れ先の確保、メニューの開発など更なる充実が求められている。 ・ 国見平スキー場については、展望台、休憩施設の設置などが求められている。 ・ 賑わいづくりに向け、イベントの誘致、充実のほか、パンフレットの配布、PR等求められている。
その他(情報・防犯等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話が使えない地区があるなどの問題が指摘されており、情報通信基盤の充実が求められている。 ・ 子育て、老人介護など、日常生活に対する問題などがあげられている。

まちづくりキャッチフレーズ

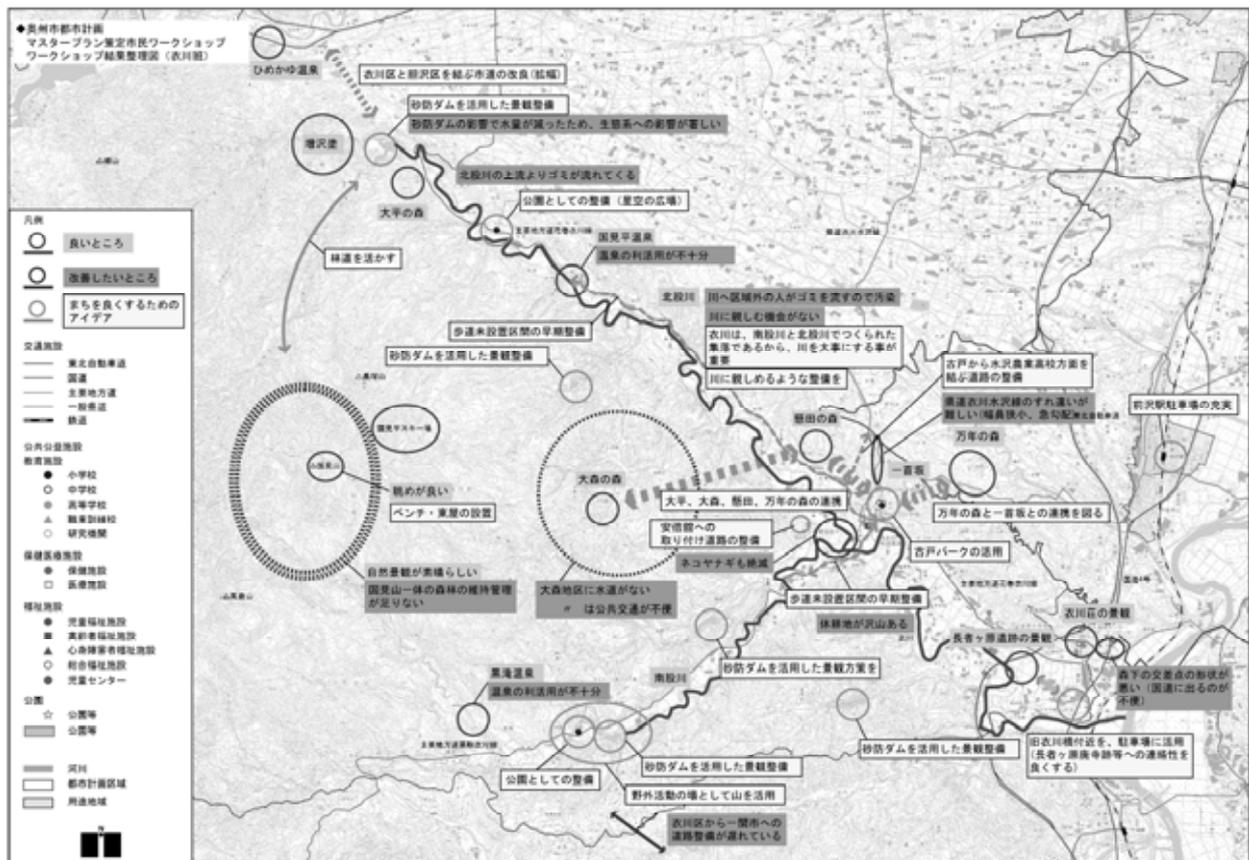
決定	健康いきいき人間豊かな郷	
最終候補	健康いきいき人情豊かな郷	
その他案	自然のまんまのまちづくり 歴史の残るまちづくり 日本に誇れる産業があつてにぎわいのある地域 歴史を大々的にPRし人的交流のさかんな地域 人が集まるまち 若者たちが住みやすいまち 年寄りの知恵・技を生かした地域づくり	自然、歴史、豊かな人情のまち 医療、福祉 山と水の保全 公共交通 史跡の整備活用 地層を調査し衣川の地学的歴史を発掘、自然の財産を生かす 藤原文化のふるさと衣川

キーワード	【自然】 自然 山 水	【歴史・文化】 歴史 年寄りの知恵・技
	【健康】 健康 医療・福祉 いきいき	【交流】 交流 集まる
	【その他】 若者 住みやすい 人情 産業	

将来像を実現するために重点的に取り組むこと

協働で取り組むテーマ	考え方	行政の役割	地域の役割
自然環境の維持・保全活動	自然環境の恵みを通じて、発展してきた衣川の歴史を継承するため、その基礎となる自然環境の維持・保全活動に取り組む必要がある。	自然を監視する専門職の配置等体制の整備	不法投棄の監視、クリーン作戦の実施、ガイド役の育成等
文化の伝承	生活の中で育ってきた文化は、地区固有のものであることから、伝承は、重要な取り組みである。	史跡の整備・活用、文化伝承活動への支援等	文化の伝承(萩刈唄、神楽など)等
働く場(産業)の整備	いきいきした里づくりのためには、働く場(産業)の充実が重要であり、グリーンツーリズムを通じた取り組みを維持・発展させていく必要がある。	リーダーの育成、地元の人材の活用、グリーンツーリズムの受け入れ体制の整備	田畑の管理 グリーンツーリズムの実施等
コミュニティの活発化	まちづくりにおいて、地域力による支えも重要であり、その基礎となるコミュニティの活性化に取り組む必要がある。	コミュニティ活動への支援、交流の場づくり 衣里地区センターの建設	地区振興会等の住民活動
教育・子育ての充実	子供たちが衣川の歴史を知り、将来への夢や理想を持てる人間豊かな人づくりを目指し、教育・子育ての充実を図っていく必要がある。	ファミリーサポート	学習教室の実施
健康の維持	1人ひとりが健康となり、人間豊かな郷づくりを行うため、健康の維持・増進を図っていく必要がある。	集落単位の健康体操の実施、集落から診療所までの足の確保	検診に参加、散歩・健康づくりなど

ワークショップ結果整理図



資 - 3 市民アンケート等

(1) 市民アンケート等の概要

都市計画マスタープランの策定にあたり、まちづくりに対する市民等の意向・意見を把握し、計画に反映させることを目的として、市民アンケート、事業者アンケート、中学生アンケート、来訪者ヒアリングを実施しました。

調査概要

	市民アンケート	事業者アンケート	中学生アンケート	来訪者ヒアリング
調査地域 (地点)	奥州市全域	奥州市全域	奥州市全域	正法寺、道の駅「みずさわ」、後藤新平記念館、高野長英記念館、水沢江刺駅、えさし藤原の郷、牛の博物館、胆沢ダム周辺、国民宿舎サンホテル衣川荘
調査対象	奥州市に居住する、平成 19 年 4 月 1 日現在で満 18 歳以上の市民	奥州市に事業所のある事業者	奥州市内の中学 2 年生全員	奥州市以外に居住する観光客等(現住所が奥州市以外の人)
調査方法	行政区長による配付及び回収	郵送による配付及び回収	各学校による配付及び回収	調査員による直接ヒアリング
調査期間	平成 19 年 10 月 25 日(木)から 11 月 9 日(金)までの 16 日間	平成 19 年 11 月 29 日(木)から 12 月 10 日(月)までの 12 日間	平成 20 年 1 月～ 2 月	平成 19 年 11 月 4 日(日)
配布・回収 状況等	配付数：3,053 票 回収数：2,665 票 回収率：87%	配付数：480 票 回収数：208 票 回収率：43%	生徒数：1,324 人 回収数：1,212 票	目標数：500 票 回収数：601 票

(2) 市民アンケートの結果

調査項目

<p>1. あなたご自身について(住まい、性別、年齢、職業、居住年数)</p> <p>2. お住まいの地域について</p> <p>(1) これからも今の場所に住み続けたいと思いますか。</p> <p><u>(2) あなたが考える奥州市の中心市街地はどの地域ですか。</u></p> <p>3. 今後のまちづくりについて</p> <p><u>(1) 今後のまちづくりのために、あなたは A、B どちらを大切にすべきとお考えですか。</u></p> <p>(2) 今後、住みやすいまちづくりを進めるために、個人の農地などの開発、建物の大きさや高さなどを規制することについて、どのように思いますか。</p> <p><u>(3) 奥州市の交通環境を向上させるためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。</u></p> <p>(4) 今後の奥州市において、新たにどのような施設の整備を望みますか。</p> <p>(5) 奥州市の既存の施設のうち、早期にバリアフリー化や耐震化などの整備の充実を望む施設はどれですか。</p> <p><u>(6) 都市防災の強化のため、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。</u></p> <p>(7) これまでにまちづくりに関する活動に参加されたことがありますか。</p>

(8) 今後のまちづくりは、どのように行うべきだとお考えですか。

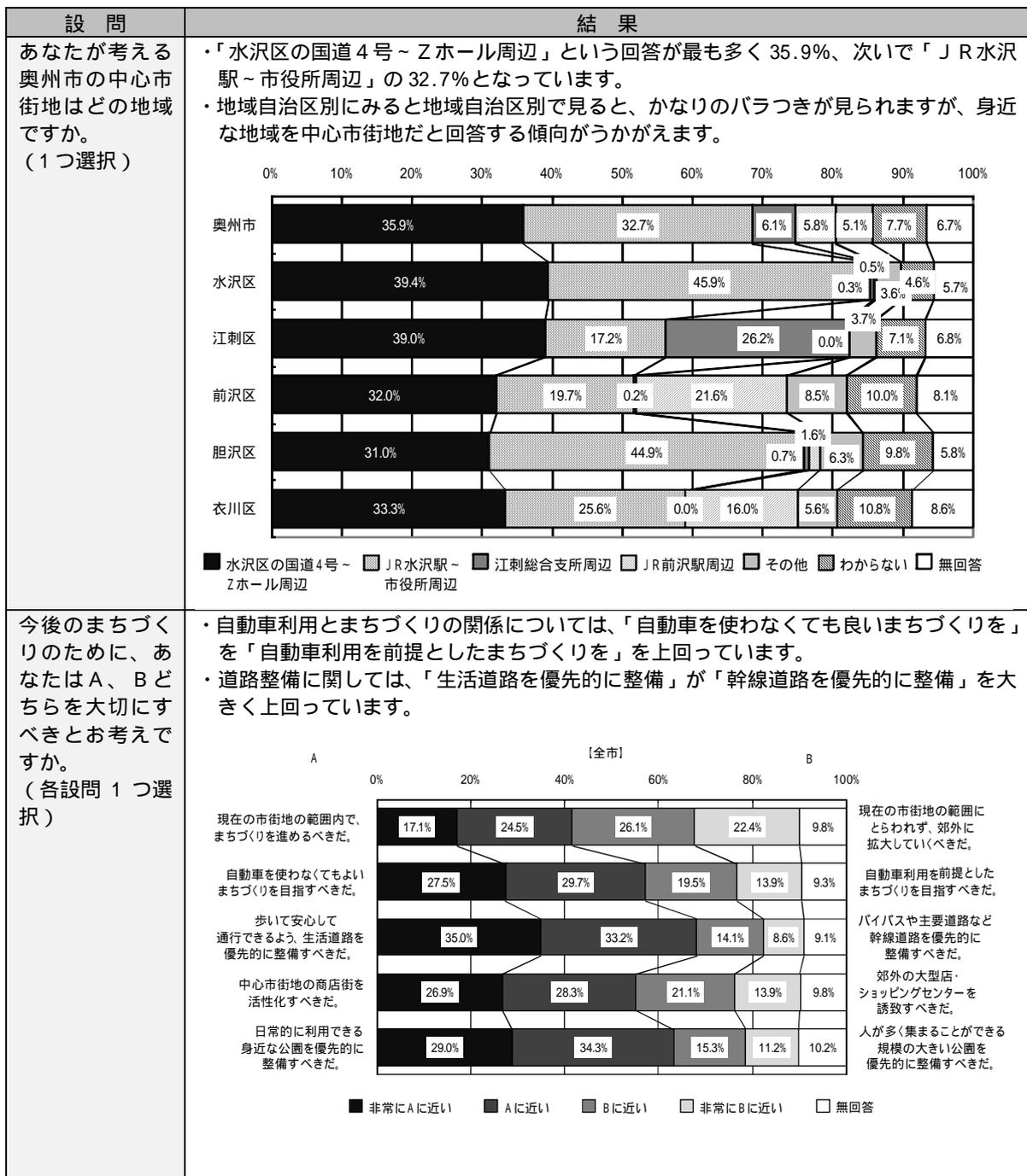
(9) これまで「都市計画マスタープラン」をご存知でしたか。

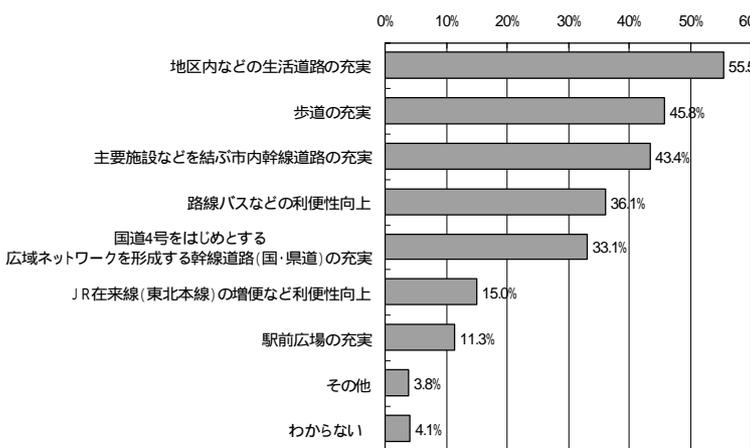
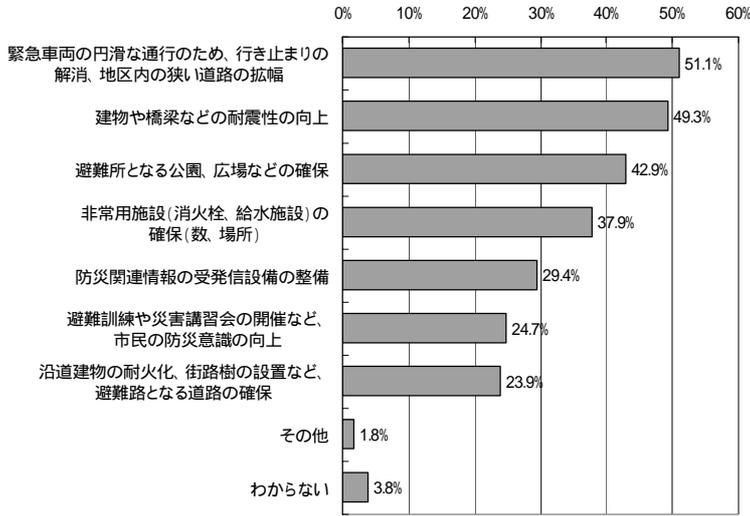
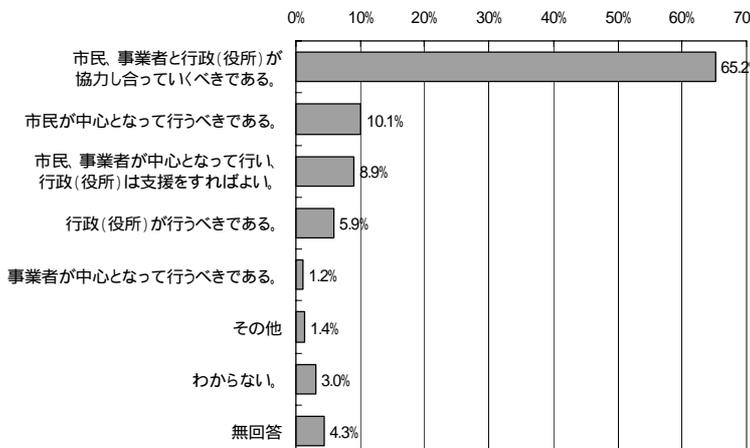
4. 奥州市の景観について

- (1) 奥州市の特徴的な景観はどれですか。
- (2) 奥州市の景観を守り、向上させるため、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。
- (3) 地域の景観を守り、今後良くしていくために、あなたができると思うことはありますか。
- (4) 地域の景観を守り、今後良くしていくために、地域の皆さんが話し合っ、建物や看板の色など地域ごとのルールをつくることも必要になります。次の中からあなたの考えに近いものはどれですか。
- (5) 奥州市において、あなたが素晴らしいと思う景観、好ましくないと思う景観がありましたら、具体的にお書きください。

5. 自由意見

市民アンケートの結果概要（上記調査項目のうち下線を引いた項目について抜粋、整理）



<p>奥州市の交通環境を向上させるためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。 (3つまで選択)</p>	<p>・「地区内などの生活道路の充実」という回答が最も多く55.5%を占め、次いで「歩道の充実」の45.8%、「主要施設などを結ぶ市内幹線道路の充実」の43.4%となっています。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地区内などの生活道路の充実</td> <td>55.5%</td> </tr> <tr> <td>歩道の充実</td> <td>45.8%</td> </tr> <tr> <td>主要施設などを結ぶ市内幹線道路の充実</td> <td>43.4%</td> </tr> <tr> <td>路線バスなどの利便性向上</td> <td>36.1%</td> </tr> <tr> <td>国道4号をはじめとする広域ネットワークを形成する幹線道路(国・県道)の充実</td> <td>33.1%</td> </tr> <tr> <td>JR在来線(東北本線)の増便など利便性向上</td> <td>15.0%</td> </tr> <tr> <td>駅前広場の充実</td> <td>11.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>3.8%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>4.1%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	地区内などの生活道路の充実	55.5%	歩道の充実	45.8%	主要施設などを結ぶ市内幹線道路の充実	43.4%	路線バスなどの利便性向上	36.1%	国道4号をはじめとする広域ネットワークを形成する幹線道路(国・県道)の充実	33.1%	JR在来線(東北本線)の増便など利便性向上	15.0%	駅前広場の充実	11.3%	その他	3.8%	わからない	4.1%
項目	割合																				
地区内などの生活道路の充実	55.5%																				
歩道の充実	45.8%																				
主要施設などを結ぶ市内幹線道路の充実	43.4%																				
路線バスなどの利便性向上	36.1%																				
国道4号をはじめとする広域ネットワークを形成する幹線道路(国・県道)の充実	33.1%																				
JR在来線(東北本線)の増便など利便性向上	15.0%																				
駅前広場の充実	11.3%																				
その他	3.8%																				
わからない	4.1%																				
<p>都市防災の強化のため、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。 (3つまで選択)</p>	<p>・「行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅」という回答が最も多く51.1%、次いで「建物や橋梁などの耐震性の向上」の49.3%、「避難所となる公園、広場などの確保」の42.9%となっています。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緊急車両の円滑な通行のため、行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅</td> <td>51.1%</td> </tr> <tr> <td>建物や橋梁などの耐震性の向上</td> <td>49.3%</td> </tr> <tr> <td>避難所となる公園、広場などの確保</td> <td>42.9%</td> </tr> <tr> <td>非常用施設(消火栓、給水施設)の確保(数、場所)</td> <td>37.9%</td> </tr> <tr> <td>防災関連情報の受発信設備の整備</td> <td>29.4%</td> </tr> <tr> <td>避難訓練や災害講習会の開催など、市民の防災意識の向上</td> <td>24.7%</td> </tr> <tr> <td>沿道建物の耐火化、街路樹の設置など、避難路となる道路の確保</td> <td>23.9%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.8%</td> </tr> <tr> <td>わからない</td> <td>3.8%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	緊急車両の円滑な通行のため、行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅	51.1%	建物や橋梁などの耐震性の向上	49.3%	避難所となる公園、広場などの確保	42.9%	非常用施設(消火栓、給水施設)の確保(数、場所)	37.9%	防災関連情報の受発信設備の整備	29.4%	避難訓練や災害講習会の開催など、市民の防災意識の向上	24.7%	沿道建物の耐火化、街路樹の設置など、避難路となる道路の確保	23.9%	その他	1.8%	わからない	3.8%
項目	割合																				
緊急車両の円滑な通行のため、行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅	51.1%																				
建物や橋梁などの耐震性の向上	49.3%																				
避難所となる公園、広場などの確保	42.9%																				
非常用施設(消火栓、給水施設)の確保(数、場所)	37.9%																				
防災関連情報の受発信設備の整備	29.4%																				
避難訓練や災害講習会の開催など、市民の防災意識の向上	24.7%																				
沿道建物の耐火化、街路樹の設置など、避難路となる道路の確保	23.9%																				
その他	1.8%																				
わからない	3.8%																				
<p>今後のまちづくりは、どのように行うべきだとお考えですか。 (1つ選択)</p>	<p>・「市民、事業者と行政(役所)が協力し合っていくべきである」という回答が最も多く65.2%を占めています。</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民、事業者と行政(役所)が協力し合っていくべきである。</td> <td>65.2%</td> </tr> <tr> <td>市民が中心となって行うべきである。</td> <td>10.1%</td> </tr> <tr> <td>市民、事業者が中心となって行い、行政(役所)は支援をすればよい。</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td>行政(役所)が行うべきである。</td> <td>5.9%</td> </tr> <tr> <td>事業者が中心となって行うべきである。</td> <td>1.2%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1.4%</td> </tr> <tr> <td>わからない。</td> <td>3.0%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>4.3%</td> </tr> </tbody> </table>	項目	割合	市民、事業者と行政(役所)が協力し合っていくべきである。	65.2%	市民が中心となって行うべきである。	10.1%	市民、事業者が中心となって行い、行政(役所)は支援をすればよい。	8.9%	行政(役所)が行うべきである。	5.9%	事業者が中心となって行うべきである。	1.2%	その他	1.4%	わからない。	3.0%	無回答	4.3%		
項目	割合																				
市民、事業者と行政(役所)が協力し合っていくべきである。	65.2%																				
市民が中心となって行うべきである。	10.1%																				
市民、事業者が中心となって行い、行政(役所)は支援をすればよい。	8.9%																				
行政(役所)が行うべきである。	5.9%																				
事業者が中心となって行うべきである。	1.2%																				
その他	1.4%																				
わからない。	3.0%																				
無回答	4.3%																				

(3) 事業者アンケートの結果

調査項目

1. 貴事業所について（事業所の場所、業種、操業年数、従業員の規模）
2. 事業経営の状況等について
3. お住まいの地域について
 - (1) 現在の事業・経営の状況について、どのようにお考えですか。
 - (2) これからも事業を行っていきたいと思いますか。
 - (3) 貴事業所が考える奥州市の中心市街地はどの地域ですか。
4. 今後のまちづくりにについて
 - (1) 今後のまちづくりのために、あなたはA、Bどちらを大切にすべきとお考えですか。
 - (2) 今後、計画的でより良いまちづくりを進めるために、個人や事業者の農地などの開発、建物の大きさや高さなどを規制することについて、どのように思いますか。
 - (3) 奥州市の交通環境を向上させるためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。
 - (4) 都市防災の強化のため、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。
 - (5) 今後のまちづくりは、どのように行うべきだとお考えですか。
 - (6) これまで「都市計画マスタープラン」をご存知でしたか。
5. 奥州市の景観について
 - (1) 奥州市の特徴的な景観はどれですか。
 - (2) 奥州市の景観を守り、向上させるため、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。
 - (3) 地域の景観を守り、今後良くしていくために、現在、事業者として実施しているものはありますか。
 - (4) 地域の景観を守り、今後良くしていくために、地域の皆さんが話し合っ、建物や看板の色など地域ごとのルールをつくることも必要になります。次の中から貴事業所の考えに近いものはどれですか。
 - (5) 今後、市または地域が景観形成を進めるとした場合、一番問題になると思われるものはどれですか。
6. 自由意見

事業者アンケートの結果概要（上記調査項目のうち下線を引いた項目について抜粋、整理）

設 問	結 果																																																								
あなたが考える奥州市の中心市街地はどの地域ですか。 （1つ選択）	<p>・「水沢区の国道4号～Zホール周辺」という回答が最も多く41.3%、次いで「JR水沢駅～市役所周辺」の39.4%となっています。</p> <p>・地域自治区別にみると、身近な地域を中心市街地だと回答する傾向がうかがえます。</p> <table border="1"> <caption>Center City Area Response Data (Estimated from Chart)</caption> <thead> <tr> <th>自治区別</th> <th>水沢区の国道4号～Zホール周辺</th> <th>JR水沢駅～市役所周辺</th> <th>江刺総合支所周辺</th> <th>JR前沢駅周辺</th> <th>その他</th> <th>わからない</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全市</td> <td>41.3%</td> <td>39.4%</td> <td>3.8%</td> <td>3.8%</td> <td>5.8%</td> <td>4.8%</td> <td>1.0%</td> </tr> <tr> <td>水沢区</td> <td>42.6%</td> <td>50.8%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>4.9%</td> <td>0.8%</td> <td>0.8%</td> </tr> <tr> <td>江刺区</td> <td>48.7%</td> <td>12.8%</td> <td>20.5%</td> <td>2.6%</td> <td>2.6%</td> <td>12.8%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>前沢区</td> <td>36.8%</td> <td>10.5%</td> <td>0.0%</td> <td>36.8%</td> <td>0.0%</td> <td>10.5%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>胆沢区</td> <td>28.6%</td> <td>52.4%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> <td>14.3%</td> <td>4.8%</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>衣川区</td> <td>40.0%</td> <td>20.0%</td> <td>0.0%</td> <td>20.0%</td> <td>20.0%</td> <td>0.0%</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table>	自治区別	水沢区の国道4号～Zホール周辺	JR水沢駅～市役所周辺	江刺総合支所周辺	JR前沢駅周辺	その他	わからない	無回答	全市	41.3%	39.4%	3.8%	3.8%	5.8%	4.8%	1.0%	水沢区	42.6%	50.8%	0.0%	0.0%	4.9%	0.8%	0.8%	江刺区	48.7%	12.8%	20.5%	2.6%	2.6%	12.8%	0.0%	前沢区	36.8%	10.5%	0.0%	36.8%	0.0%	10.5%	5.3%	胆沢区	28.6%	52.4%	0.0%	0.0%	14.3%	4.8%	0.0%	衣川区	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
自治区別	水沢区の国道4号～Zホール周辺	JR水沢駅～市役所周辺	江刺総合支所周辺	JR前沢駅周辺	その他	わからない	無回答																																																		
全市	41.3%	39.4%	3.8%	3.8%	5.8%	4.8%	1.0%																																																		
水沢区	42.6%	50.8%	0.0%	0.0%	4.9%	0.8%	0.8%																																																		
江刺区	48.7%	12.8%	20.5%	2.6%	2.6%	12.8%	0.0%																																																		
前沢区	36.8%	10.5%	0.0%	36.8%	0.0%	10.5%	5.3%																																																		
胆沢区	28.6%	52.4%	0.0%	0.0%	14.3%	4.8%	0.0%																																																		
衣川区	40.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%																																																		
今後のまちづくりのために、あなたはA、Bどちらを大切にす	<p>・自動車利用とまちづくりの関係については、「自動車を使わなくても良いまちづくりを」を「自動車利用を前提としたまちづくりを」がほぼ同数となっています。</p> <p>・道路整備に関しては、「生活道路を優先的に整備」が「幹線道路を優先的に整備」をやや上回っています。</p>																																																								

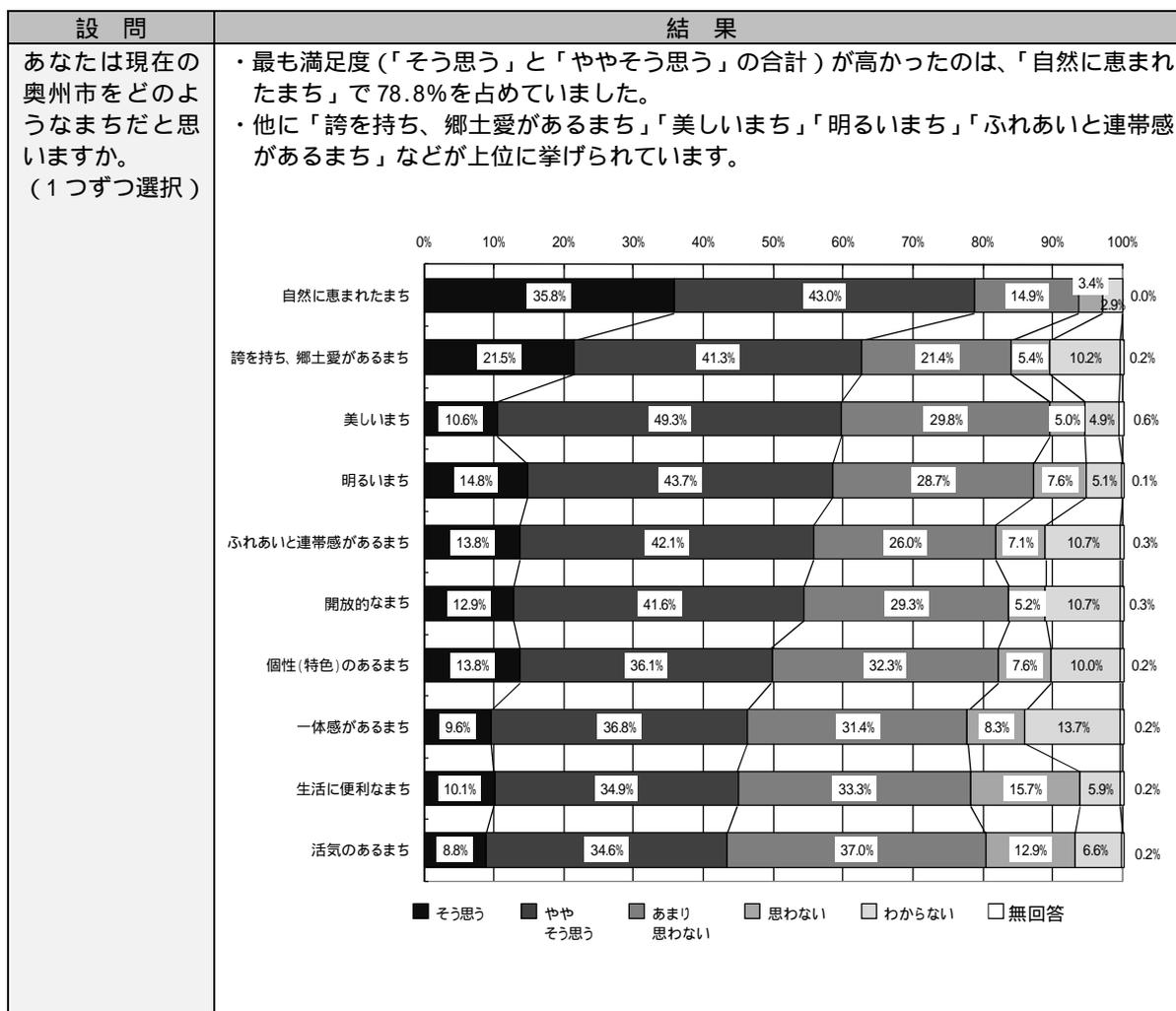
<p>べきとお考えですか。 (各設問 1 つ選択)</p>	
<p>奥州市の交通環境を向上させるためには、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。 (3 つまで選択)</p>	<p>・「主要施設などを結ぶ市内幹線道路の充実」という回答が最も多く 57.7%、次いで「地区内などの生活道路の充実」の 54.8%、「国道 4 号をはじめとする広域ネットワークを形成する幹線道路(国・県道)の充実」の 43.3%となっています。</p>
<p>都市防災の強化のため、どのようなことに取り組む必要があると思いますか。 (3 つまで選択)</p>	<p>・「緊急車両の円滑な通行のため、行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅行き止まりの解消、地区内の狭い道路の拡幅」という回答が最も多く 54.3%を占めています。次いで「非常用施設(消火栓、給水施設)の確保(数、場所)」の 44.7%、「避難所となる公園、広場などの確保」の 39.4%となっています。</p>
<p>今後のまちづくりは、どのように行うべきだとお考えですか。 (1 つ選択)</p>	<p>・「市民、事業者と行政(役所)が協力し合っていくべきである」という回答が最も多く 76.4%を占めています。</p>

(4) 中学生アンケートの結果

調査項目

1. 性別
2. あなたは現在の奥州市をどのようなまちだと思いますか。
3. あなたが住んでいる地域（近所）について、どう思いますか。
4. あなたは、20年後も奥州市に住みたいと思いますか。
 - 4-1. 質問4で「市内の他の場所へ移りたい」と答えた人のみにお聞きします。市内の他の場所へ移りたいと思う理由はどのような理由ですか。
 - 4-2. 質問4で「市外へ移りたい」と答えた人のみにお聞きします。市外へ移りたいと思う理由はどのような理由ですか。
5. あなたは将来の奥州市がどのようなまちになればいいと思いますか。
6. 今後進めるまちづくりにおいて、どのようなことに力を入れるべきと考えていますか。
7. あなたは将来、どのような職業につきたいと考えていますか。
8. あなたが住んでいる地域に、できてほしいと思うものはどれですか。
9. あなたは、普段の生活の中でどのようにしていますか。
10. 奥州市には特色ある様々な自然、偉人、特産、観光などがありますが、あなたが市外の人に自慢したいものはありますか。
11. 奥州市の景色（眺め）のうち、あなたがすばらしいと思うものはどこですか。
12. あなたが住んでいる地域や奥州市の中で感じるすばらしいと思う景色、あるいは良くないと思う景色を、その場所や内容が分かるように、できるだけ詳しく教えてください。
13. 自由意見

中学生アンケートの結果概要（上記調査項目のうち下線を引いた項目について抜粋、整理）

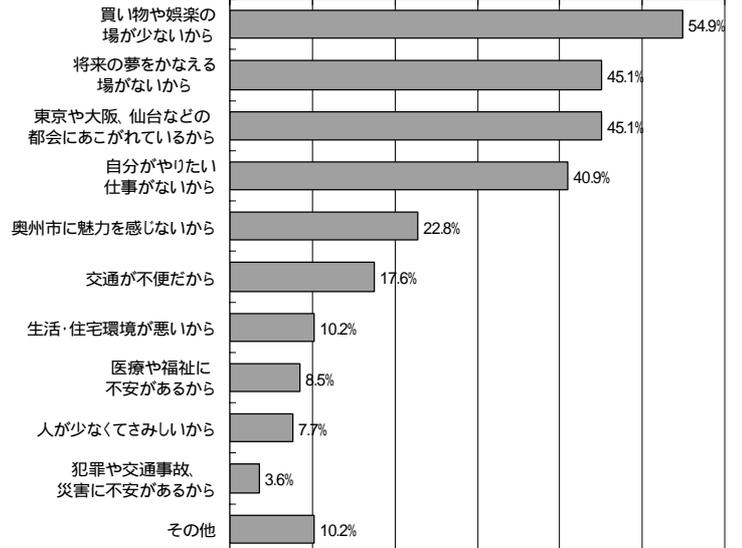
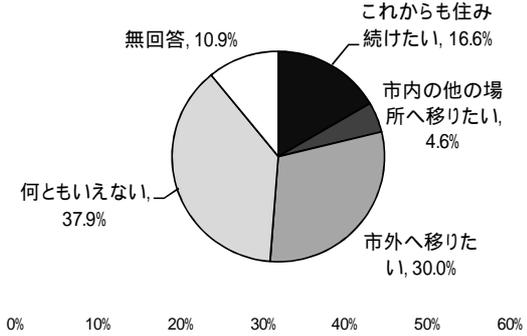


あなたは、20年後も奥州市に住みたいと思いますか。
(1つまで選択)

「市外へ移りたい」と答えた人のお聞きします。市外へ移りたいと思う理由はどのような理由ですか。
(3つまで選択)

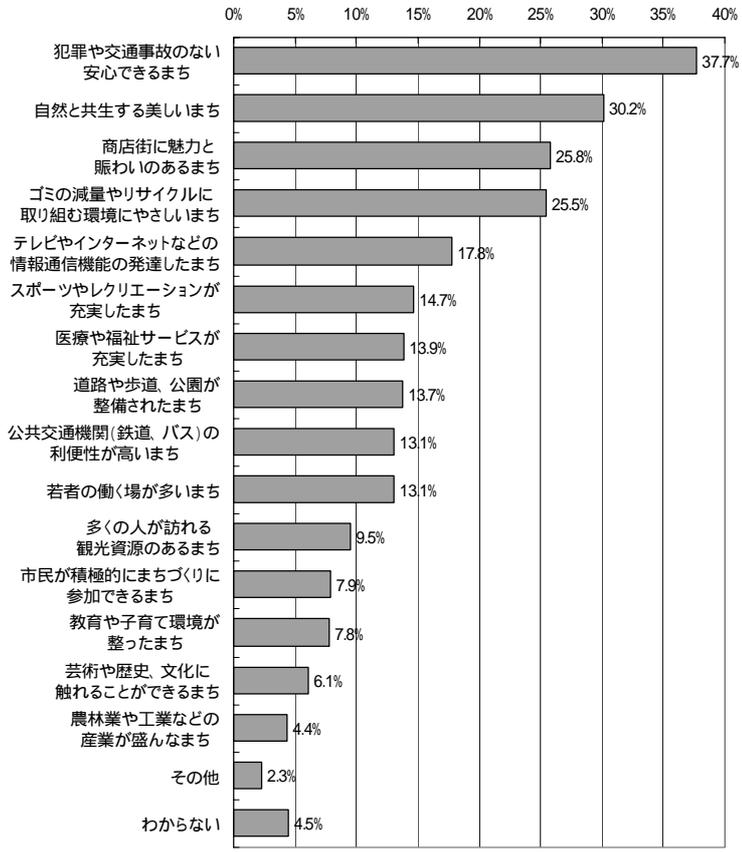
・「これからも住み続けたい」は約16.6%、これに対して「市外へ移りたい」は30.0%となっています。

・「市外へ移りたい」とする理由は、「買い物や娯楽の場が少ないから」が最も多く54.9%、次いで「将来の夢をかなえる場がないから」「東京や大阪、仙台などの都会にあこがれているから」「自分がやりたい仕事がないから」などとなっています。



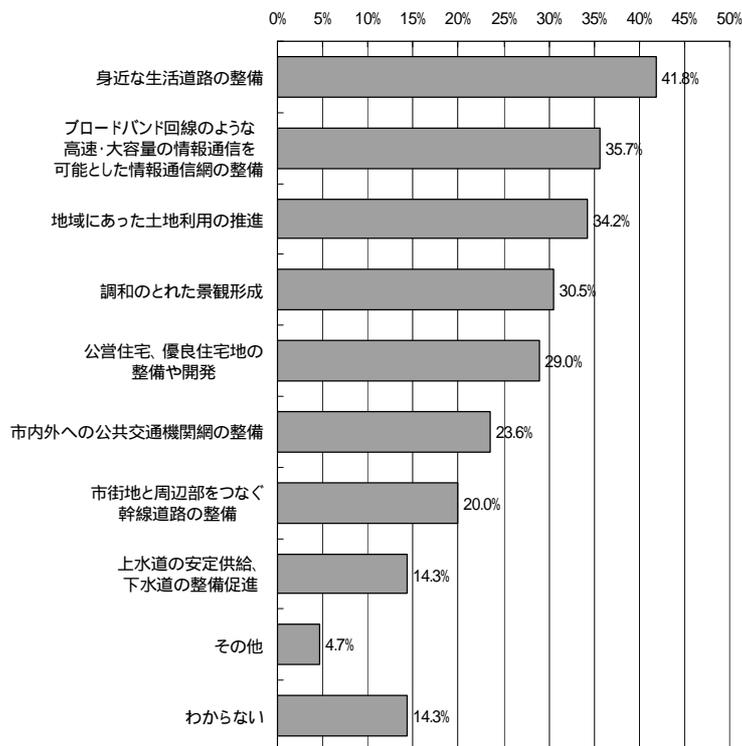
あなたは将来の奥州市がどのようなまちになればいいと思いますか。
(3つまで選択)

・最も回答が多かったのは「犯罪や交通事故のない安心できるまち」で37.7%を占めています。この他に「自然と共生する美しいまち」「商店街に魅力と賑わいのあるまち」「ゴミの減量やリサイクルに取り組む環境にやさしいまち」などが上位にあげられています。



今後進めるまちづくりにおいて、どのようなことに力を入れるべきと考えていますか。
(3つまで選択)

・最も回答が多かったのは、「身近な生活道路の整備」で41.8%を占めています。この他に「ブロードバンド回線のような高速・大容量の情報通信を可能とした情報通信網の整備」「地域にあった土地利用の推進」「調和のとれた景観形成」「公営住宅、優良住宅地の整備や開発」などが上位にあげられています。



奥州市には特色ある様々な自然、偉人、特産、観光がありますが、あなたが市外の人に自慢したいものはありますか。

・様々なキーワードが出されていましたが、それを主なキーワード毎に分類すると概ね次のとおりとなります。

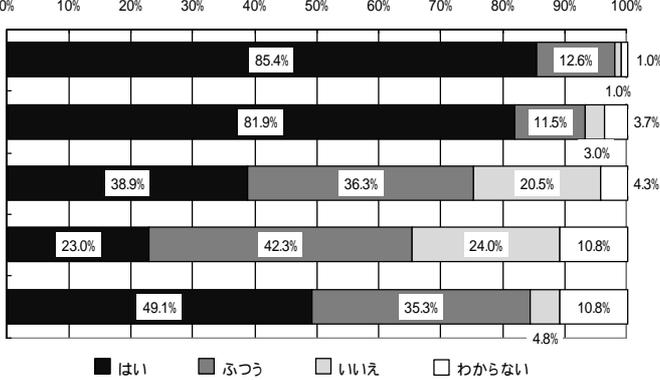
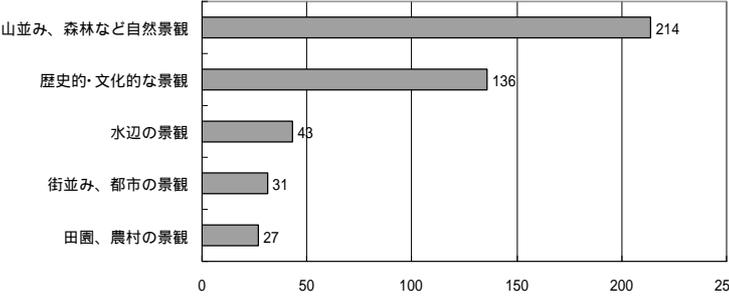
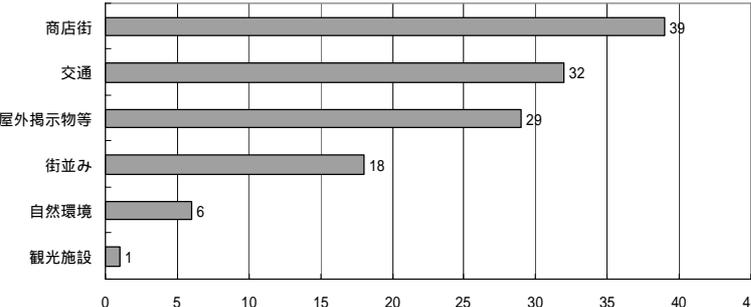
分類	主なキーワード	延べ件数
人物、偉人	水沢三偉人	40
	高野長英	121
	後藤新平	85
	斎藤實	40
	小沢一郎	10
特産品	前沢牛	320
	南部鉄器	246
	りんご	120
	岩谷堂たんす	58
	江刺金札米	39
	ピーマン	18
	南部煎餅	10
自然、名所	藤原の郷	168
	自然の豊かさ	61
	焼石連峰	52
	北上川	17
	水沢公園	12
行事、イベント	日高火防祭	26
	ししおどり	4

(5) 来訪者ヒアリングの結果

調査項目

<p>1. お住まいの場所は</p> <p>2. 奥州市への訪問頻度は</p> <p>3~7. 奥州市の印象について直感的に評価してください (自然、歴史・文化、交通の便、活気や賑わい、もてなしの心)</p> <p>8. 奥州市の特徴的な景観はどれですか</p> <p>9. 奥州市の良い景観、悪い景観で、具体的な場所がありますか</p> <p>10. 「奥州市」と聞いて何をイメージしますか</p>	
---	--

来訪者ヒアリングの結果概要 (上記調査項目のうち下線を引いた項目について抜粋、整理)

設 問	結 果
<p>奥州市の印象について直感的に評価してください</p>	<p>・「はい」の割合が最も高かったのは「自然豊かで美しい」、次いで「歴史・文化が感じられる」となっており、いずれも8割以上を占めています。「いいえ」の割合が最も高かったのは「活気や賑わいがある」であり、2割を超えています。</p>  <p style="text-align: center;">■ はい ■ ふつう ■ いいえ ■ わからない</p>
<p>奥州市の良い景観、悪い景観で、具体的な場所がありますか</p>	<p>・良いと思う景観は、「山並み、森林など自然景観」最も多く、次いで「歴史的・文化的な景観」「水辺の景観」となっています。</p>  <p>・悪いと思う景観としては、「商店街」「交通」「屋外掲示物等」があげられています。</p> 

奥州市都市計画マスタープラン

平成 22 年 3 月

発行 / 奥州市

編集 / 奥州市都市整備部都市計画課

〒023-8501 岩手県奥州市水沢区大手町一丁目 1 番地

TEL 0197-24-2111

FAX 0197-24-1992

<http://www.city.oshu.iwate.jp/>

